

2025 年度

事業報告書

事業報告附属明細書



社会福祉法人 **太陽会**

2026.6.6 理事会（案）

使命・基本理念

■ 使命

Quality of Life への貢献

私たちは、全ての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティの心を大切にし、ゆとりある理想社会の創造を使命とします。

■ 基本理念

1. ご利用者の「生命の尊厳」と「人権の尊重」を最優先します。
2. 職員は「信頼と尊敬」の心を持ち、常に「研鑽と人間的成長」に努めます。
3. ご利用者との「相互理解」を深め、「信頼と共生」を価値観とします。
4. 地域社会への「参加」と地域医療・福祉・教育への「貢献」を奨励します。

■ 職員の 5 つの心得

1. 生命は尊くかけがえない存在である。
2. 人間としてのあらゆる権利を尊重する。
3. 理想社会の実現に向けて、常に向上心を持ち続ける。
4. 常に充実感をもち、明るく行動する。
5. まず、私たちが幸福でなければ、良きサービスは提供できない。

目 次
事業報告書

はじめに	3
1. 組織体系図	4
2. 事業所の概要	5
3. 理事会・評議員会の開催状況	6
4. 監査	8
5. 県指導監査等	8
6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査	9
7. 地域における公益的な取組	9
8. 事業展開について	10
9. 職員の動静	11
10. 労働災害の発生状況	12
11. 年間の休暇・休職の状況	12

事業報告附属明細書

12. 特別養護老人ホームめぐみの里	13
13. 介護老人保健施設たいよう	15
14. ケアハウスまんぼう	17
15. 障害者支援施設しあわせの里	19
16. 障害福祉サービス事業所らんまん	21
17. 千葉県中核地域生活支援センターひだまり	23
18. 鴨川市総合相談センター天津小湊	25
19. 安房地域医療センター	27
20. 訪問看護ステーションおひさま	29
21. 安房医療福祉専門学校	31
22. 安房医療福祉専門学校南房総校	33
23. 認定こども園 OURS	35
24. 認定こども園 OURS 館山	37
25. OURS baby	39
26. 家事代行サービスルアナ	41
27. 労働者派遣事業サンキャリ・有料職業紹介事業サンキャリ	43
28. パークウェルステイト鴨川	45
29. 亀田ホームクリニック幕張・亀田ホームケアサービス幕張	47

はじめに

2025年度は、医療・介護事業者にとって、これまでに経験のないほど厳しい経営環境に直面した一年となりました。2024年度には、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のいわゆるトリプル改定が実施されましたが、長期にわたるデフレ経済からの転換局面にある我が国において、物価上昇や人件費の増加を十分に反映しない内容であったことから、実質的には大幅なマイナス改定となりました。特に、救急医療の分野においては、救急搬送の受入れが増えるほど赤字が拡大するなど、制度的な歪みが顕在化する状況となりました。

こうした事態を受け、政府は福祉医療機構を通じた緊急融資を実施するとともに、2025年秋の補正予算により補助金や追加の資金支援を講じました。当会の主たる事業である医療・介護分野においても、その影響は大きく、経営面では大幅な赤字を計上する結果となりました。

一方で、新規事業として、2025年4月に公私連携型認定こども園 OURS 館山（定員294名）を開園するとともに、安房地域医療センター内に眼科センターを開設いたしました。急速に進行する少子化の中で、子育て支援のあり方は大きな社会課題となっています。OURS 館山では、「共働き世帯でも安心して3人以上の子どもを育てられる環境づくり」をコンセプトに、早朝から夜間までの通年開園、看護師常駐による病児対応、厨房併設による食事提供、さらには SNS を活用した保護者との情報共有など、これまでの経験を生かした利用者本位の運営に取り組んでまいりました。当初は様々なご意見もありましたが、開園から1年で多くの方々の信頼を得ることができ、順調なスタートを切ることができました。

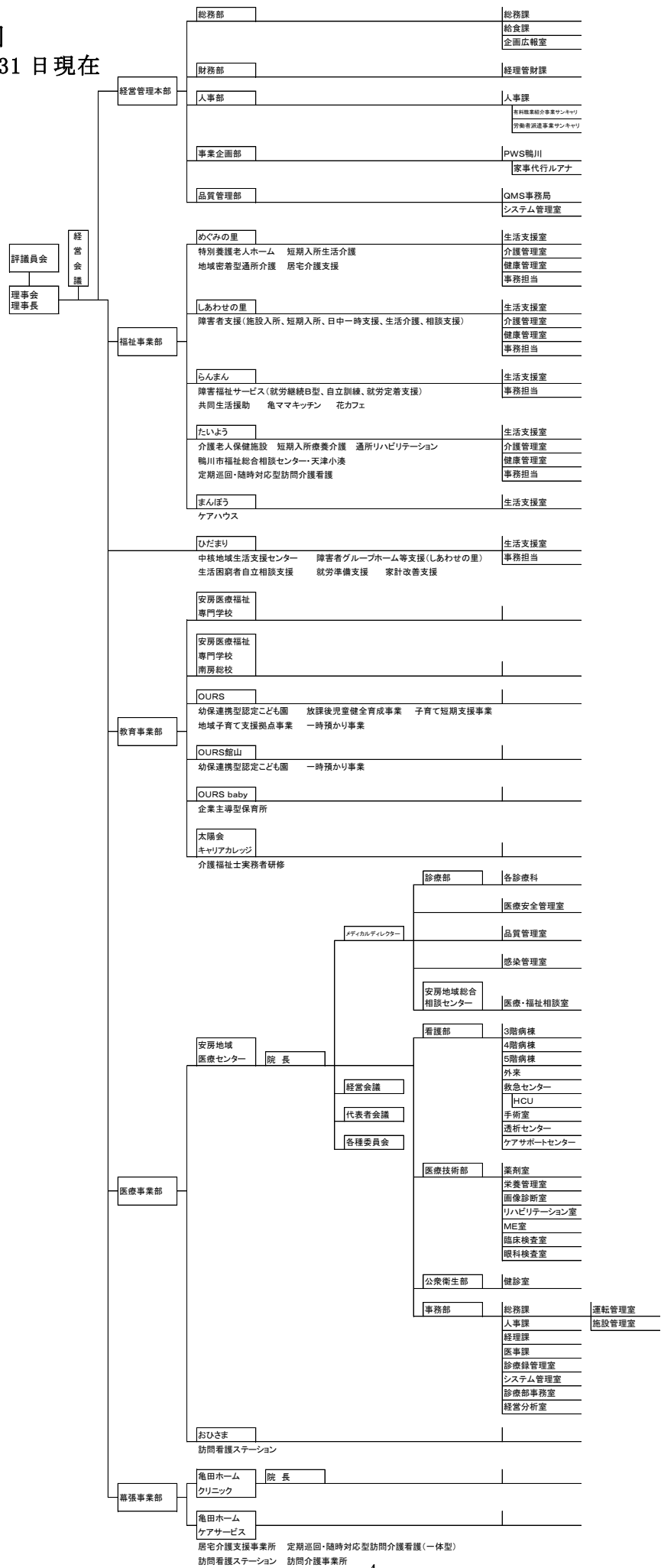
また、眼科センターにつきましては、2025年4月に開設後、同年10月より本格稼働を開始いたしました。患者数及び手術件数は着実に増加している一方で、既に受入能力の上限に達しつつあることから、2027年度の改築移転に向けた準備を進めております。

さらに、診療報酬や介護報酬といった公定価格に依存した収益構造のみでは、将来的な安定経営が困難となる可能性を踏まえ、安房地域医療センターの強みである健診事業の強化にも着手いたしました。とりわけ、これまで施設面の制約により1日数名に限られていた人間ドックの受入れ拡大を図るため、2025年秋には同センター近隣に健診専用施設「房総健康管理センター」の建設に着工いたしました。工事は順調に進捗しており、2026年10月オープンを予定しております。

このように、経営環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、当会が担う医療、介護・福祉、子育て支援、教育は、社会にとって不可欠な基盤であり、持続的に提供していく責務があります。また、これらの分野は AI 等による代替が限定的であることから、今後の事業継続においては、財務基盤の安定に加え、人材の育成・確保が極めて重要な課題であると認識しております。今後も将来を見据え、社会に貢献する多様な取り組みを、高い志のもと着実に推進してまいります。

理事長 亀田信介

1. 組織体系図
2026 年 3 月 31 日現在



2. 事業所の概要

事業所名	管理者	所在地	電話番号
特別養護老人ホームめぐみの里	茂木 修	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1222 番地 1	04-7098-1000
介護老人保健施設たいよう	西野 洋	〒296-0043 千葉県鴨川市西町 1011 番地 1	04-7093-7711
ケアハウスまんぼう	永井 広雄	〒296-0041 千葉県鴨川市東町 607 番地 1	04-7099-1331
障害者支援施設しあわせの里	和泉 悟	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243 番地 2	04-7098-1110
障害福祉サービス事業所らんまん	鈴木 晃	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1245 番地	04-7098-1800
千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	香田 道丸	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地 安房地域医療センター敷地内	0470-28-5667
鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	石井 めぐみ	〒299-5503 千葉県鴨川市天津 163 番地 1	04-7094-5800
安房地域医療センター	福内 正義	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地	0470-25-5111
訪問看護ステーションおひさま	大友 可奈	〒294-0051 千葉県館山市山本 2423 番地 3	0470-29-7868
安房医療福祉専門学校	大塚 逸子	〒294-0007 千葉県館山市腰越 801 番地 1	0470-28-5100
安房医療福祉専門学校 南房総校	亀田 省吾	〒299-2712 千葉県南房総市和田町海発 1601 番地 1	0470-29-3700
認定こども園 OURS	米倉 里奈	〒296-0044 千葉県鴨川市広場 1726 番地 1	04-7099-0800
認定こども園 OURS 館山	米倉 和昭	〒294-0045 千葉県館山市北条 402 番地 1	0470-22-0700
企業主導型保育所 OURS baby	千束 静子	〒296-0044 千葉県鴨川市東町 601 番地 1 Sun OURS 2 階	04-7096-5800
亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	本山 哲也	〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3丁 目1番地 23	043-307-5735 043-307-8331

3. 理事会・評議員会の開催状況

開催日	議題
【第1回】理事会(決議の省略) 2025年4月16日	【決議事項】 1. 基本財産の追加について 2. 評議員会の招集事項について
【第1回】評議員会(決議の省略) 2025年4月24日	【決議事項】 1. 定款変更の承認の件
【第2回】理事会 2025年6月14日 午後2時00分より Sun OURS 3階会議室 欠席:宮越理事	【決議事項】 1. 2024年度事業報告について 2. 2024年度決算について 3. 評議員候補者について 4. 評議員選任・解任委員会について 5. 理事・監事候補者について 6. 評議員会について 7. 経理規定の改訂について 8. 組織図の改訂について 9. 就業規則等の改定について※本理事会での議案を取り下げて、2025年度第3回理事会(決議の省略)に付議。 10.認定こども園 OURS 館山 長期運転資金借入れについて 11.特別養護老人ホームめぐみの里 照明のLED化工事及びリースの随意契約について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について
【第2回】評議員会 2025年6月28日 午後2時00分より Sun OURS 3階会議室 欠席:石井評議員、相原評議員	【決議事項】 1. 理事・監事の選任について 【報告事項】 1. 2024年度事業報告について 2. 2024年度決算について
【第3回】理事会(決議の省略) (報告の省略) 2025年6月28日	【決議事項】 1. 理事長の選定について 2. 苦情解決に関する第三者委員の選任について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 就業規則等の改定について 5. 幕張事業部について 【報告事項】 1. 評議員選任・解任委員会の議事録について
【第4回】理事会(決議の省略) 2025年8月4日	【決議事項】 1. 「育児休業・育児勤務等の取扱規則」ならびに「介護休業・介護勤務の取扱規則」の一部改正について 2. 随意契約について
【第5回】理事会(決議の省略) 2025年8月19日	【決議事項】 1. 経理規定の改訂について 2. 太陽有限責任監査法人との監査契約の締結について
【第6回】理事会(決議の省略) 2025年9月1日	【決議事項】 1. エビの陸上養殖実証プロジェクトについて
【第7回】理事会(決議の省略) 2025年9月20日	【決議事項】 1. 「太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川」の開設について 2. 賃金規則(医療事業部)について 3. 賃貸アパート「ラムアカーサ」の一括借り上げについて
【第8回】理事会(決議の省略) 2025年9月22日	【決議事項】 1. (仮称)安房総合健康管理センター計画について

【第9回】理事会（決議の省略） 2025 年 10 月 21 日	【決議事項】 1. 安房地域医療センターの長期運転資金借入について
【第10回】理事会 2025 年 12 月 6 日 午後2時 00 分より Sun OURS 3階会議室 欠席:福内理事	【決議事項】 1. 2025 年度上期実績及び資金収支補正予算(案)について 2. 税理士の選任及び顧問契約締結について 3. 長期運転資金借入について 4. 安房医療福祉専門学校「学則」の一部改訂と実習施設の変更に ついて 5. 安房医療福祉専門学校南房総校「学則」の一部改訂について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について
【第11回】理事会（決議の省略） 2026 年 1 月 26 日	【決議事項】 1. 短期運転資金借入について
【第12回】理事会（決議の省略） 2026 年 2 月 2 日	【決議事項】 1. 訴訟和解案について
【第13回】理事会 2026 年 3 月 21 日 午後2時 00 分より Sun OURS 3階会議室 欠席:福内理事	【決議事項】 1. 2025 年度資金収支補正予算(案)について 2. 2026 年度事業計画(案)について 3. 2026 年度資金収支予算(案)について 4. 施設長等の人事異動について 5. 経理規定の改訂について 6. (仮称)安房総合健康管理センター建築工事及び開設に伴う資 金計画の変更について 7. 認定こども園 OURS の長期運転資金借入について 8. 安房地域医療センターの短期運転資金借入について 9. 介護福祉学科の学生への千葉県社会福祉協議会奨学金貸付の 連帯保証について 10.人事労務管理システム「SmartHR」の導入について 11.賃貸アパート「KTS 川間 B 棟」の一括借り上げについて 12.障害者支援施設しあわせの里 障害福祉サービス事業所らんまん 空調設備の更新について 13.介護老人保健施設たいよう 温冷配膳車のリース契約について 14.介護老人保健施設たいよう 屋上業務用エアコン室外機撤去工 事について 15.安房医療福祉専門学校南房総校 送迎車両のリース契約につい て 16.安房医療福祉専門学校南房総校 トイレ改修工事について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について

4. 監査

2025 年6月 12 日	会計監査人監査 (令和6会計年度)	太陽有限責任監査法人 無限定適正意見
2025 年6月 13 日	監事監査 (令和6会計年度)	三亀 勝弘 監事 庄司 満治 監事 指摘事項なし

5. 県指導監査等

2025 年6月 19 日 千葉県君津健康福祉センター	OURS baby	指摘事項なし
2025 年9月 26 日 公益財団法人児童育成協会	OURS baby	改善を要する事項：1 件 (職員配置基準について)
2025 年 10 月 3 日 2025 年 10 月 6 日 2025 年 10 月 9 日 千葉県安房保健所	安房地域医療センター	医療機関立入検査 適合
2025 年 10 月 28 日 千葉市保健福祉局	亀田ホームケアサービス幕張 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	指摘事項なし
2025 年 11 月 11 日 千葉県君津健康福祉センター	法人本部	文書指摘：1 件(会計) 口頭指摘：5 件(会計) 助言：4 件(会計)
2026 年1月 30 日 千葉県君津健康福祉センター	認定こども園 OURS 館山	助言：1 件(運営)
2026 年3月 6 日(書面審査) 千葉県君津健康福祉センター	認定こども園 OURS	口頭指摘：1 件(運営)

※上記、改善報告書等の提出が必要な事項については、期日までに報告が完了しております。

6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査

・福祉事業部

上期内部監査	2025 年5月1日～20 日(内 12 日間)
サーベイランス審査(※)	2025 年5月 22 日～23 日
下期内部監査	2025 年 11 月4日～21 日(内 14 日間)
サーベイランス審査(※)	2025 年 12 月 10 日～12 日
臨時内部監査(認証審査前)	2026 年1月 28 日(認定こども園 OURS 館山)
認証更新日	2024 年7月 12 日(有効期限 2027 年7月 23 日)

・医療事業部

サーベイランス審査(※)	2025 年6月 19 日～20 日 2025 年 12 月 18 日～19 日
拡大審査(※)	2025 年 12 月 17 日(眼科センター)
内部監査	2025 年 10 月 15 日～2026 年2月 26 日(内 29 日間)
認証更新日	2023 年 12 月 11 日 (有効期限 2026 年 12 月 25 日)

・安房医療福祉専門学校

サーベイランス審査(※)	2025 年7月 24 日 2025 年 12 月9日
内部監査	2025 年7月 14 日～9月 16 日(内4日間) 2025 年 12 月 24 日～2026 年1月 30 日(内4日間)
認証更新日	2023 年 11 月 27 日 (有効期限 2026 年 12 月 17 日)

※BSI グループジャパン株式会社

7. 地域における公益的な取組

- ・無料低額診療事業【安房地域医療センター】
- ・地域子育て拠点事業【認定こども園OURS】
- ・買い物支援(市地区社協との連携、車両の貸し出し)【特別養護老人ホームめぐみの里】

8. 事業展開について

「障害福祉サービス事業所らんまん和田事業所」(エビの陸上養殖実証プロジェクト)

2025 年5月	令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」申請 各分野の許認可申請を開始。南房総市から、旧嶺南中学校和田校舎のプールと付属設備の無償貸与を受ける。
2025 年7月	令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」採択 補助事業に要する経費:12,500,000 円 補助金の額:4,888,000 円
2025 年8月	安房医療福祉専門学校南房総校の敷地内にて実証テストを開始。
2026 年3月	令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」実施報告

※当初は水質管理に苦慮したが、マイクロナノバブル導入により水質課題を克服し、安定稼働を確立することができた。障害福祉サービス事業所としては、生き物を育てる役割がご利用者の自信向上や、新規獲得に繋がり、障害のある方が安全に働けるユニバーサルデザインな就労モデルを実証した。エビの陸上養殖による早期量産には課題があるものの、教育拠点としての有効性を活かしたい。

「訪問看護ステーションおひさま」、「太陽会ケアプランセンターOHANA」の移転
「太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川」の新設

2025 年4月	「認定こども園 OURS 館山」の開園に伴い、「安房地域医療センター保育所」を3月末で閉所。 「訪問看護ステーションおひさま」、「太陽会ケアプランセンターOHANA」の旧安房地域医療センター保育所建物への移転と、居宅介護支援事業所である「太陽会ケアプランセンターOHANA」の2拠点化(館山市(既存)・鴨川市(新設))について、協議を開始。必要な手続き、改修工事等に着手。
2025 年9月	改修工事等、移転に必要な手続きを完了。
2025 年10月	「訪問看護ステーションおひさま」移転完了。 (所在地:千葉県館山市山本2423-3) 「太陽会ケアプランセンターOHANA」移転完了。 (所在地:千葉県館山市山本2423-3) 「太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川」の開設届出を鴨川市に提出。居宅介護支援事業所の指定を11月1日付けで受ける。
2025 年11月	「太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川」開設 (所在地:千葉県鴨川市東町1623-1)

安房地域医療センター(事業名称:房総健康管理センター BOSO Health Check-up Center)

2025 年7月	建築設計業務委託契約(一級建築士事務所モノリス)締結
2025 年8月	貸付内定通知書(WAM:517,000,000 円)受領
2025 年9月	事業名称 決定 工事請負契約書(株式会社ケイティエス)締結 起工式 実施
2025 年10月	事前土木工事 開始
2025 年11月	建築基準法第6条2第1項に基づく確認済証 受領 景観計画区域内行為適合通知書 受領 埋蔵文化剤包蔵地における土木工事等について(通知) 受領
2025 年12月	地盤改良工事 開始 本体工事 着工
2026 年3月	建築基準法第7条の4第3項に基づく中間検査合格証 受領

※2026 年8月:工事完了、9月:プレオープン、10月:オープン予定。

【継続事業の前提に関する重要事象等】

当会は、当事業年度においてもサービス活動増減差額のマイナスを計上しており、継続的なサービス活動増減差額のマイナスが生じております。このため、継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

当会は、当該状況を解消すべく、以下の施策に取り組んでまいります。

(1)「房総健康管理センター」のオープン等、新規事業の本格稼働により、ニーズにマッチした最適なサービス提供体制のさらなる構築をすることで収益力の拡大を目指します。

(2)福祉医療機構からの融資を軸とした効果的な資金調達により、将来にわたり持続可能なサービス提供体制を維持してまいります。

(3)人材の育成・確保を通じ、人材の適正配置や業務効率化等、コスト管理の徹底を図り、物価高騰等の外的要因に耐えうる財務基盤の強化を目指します。

なお、当期末現在の現金預金残高は 1,581 百万円、当期資金収支差額合計は 371 百万円、当期末支払資金残高は 1,224 百万円であり、重要な資金繰りの懸念はありません。したがって、継続事業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

9. 職員の動静

正雇用		2025 年3月末時点			2026 年3月末時点			差		
		正職員	嘱託 契約	パート アルバイト	正職員	嘱託 契約	パート アルバイト	正職員	嘱託 契約	パート アルバイト
経営管理本部		40	5	30	42	6	17	2	1	-13
福祉事業部	めぐみの里	59	7	27	63	6	20	4	-1	-7
	しあわせの里	35	2	18	39	3	17	4	1	-1
	らんまん	12	2	15	14	2	15	2	0	0
	たいよう	58	9	32	60	10	21	2	1	-11
	まんぼう	4	0	2	4	0	3	0	0	1
	ひだまり	5	1	0	4	0	0	-1	-1	0
	天津小湊	3	2	0	3	1	0	0	-1	0
	PWS 鴨川	21	5	9	34	6	5	13	1	-1
教育事業部	安房医療福祉専門学校	13	3	0	13	3	0	0	0	0
	南房総校	6	3	1	6	3	1	0	0	0
	OURS	54	5	32	48	4	35	-6	-1	3
	OURS baby	22	3	11	23	3	15	1	0	4
	OURS 館山	—	—	—	49	0	10	49	0	10
PWS 幕張ベイパーク		24	2	7	28	1	10	4	-1	3
サンキャリ		—	—	—	5	0	20	5	0	20
安房地域医療センター		393	40	115	412	51	118	19	11	3
全 体		749	89	299	847	99	307	98	10	8

10. 労働災害の発生状況

正雇用+非正雇用	業 務	通 勤	計
経営管理本部	1	1	2
福祉事業部	5	0	5
教育事業部	0	0	0
幕張事業部	1	0	1
安房地域医療センター	19	1	20
全 体	26	2	28

11. 年間の休暇・休職の状況

正雇用+非正雇用		産前 産後	育児	介護	育児/ 介護短時間	休職/ 傷病	その他	計
経営管理本部		0	0	0	0	4	0	4
福祉事業部	めぐみの里	0	3	0	3	1	0	7
	しあわせの里	0	0	0	0	3	0	3
	らんまん	0	0	0	0	0	0	0
	たいよう	3	4	1	3	3	0	14
	まんぼう	0	0	0	0	0	0	0
	ひだまり	0	0	0	0	1	0	1
	天津小湊	0	0	1	0	0	0	1
	PWS 鴨川	2	2	0	0	0	0	4
教育事業部	安房医療福祉専門学校	1	1	0	1	0	0	3
	南房総校	0	0	0	0	1	0	1
	OURS	4	6	0	4	1	0	15
	OURS baby	3	5	0	0	0	0	8
	OURS 館山	3	2	0	1	0	0	6
PWS 幕張ベイパーク		0	0	2	0	2	0	4
サンキャリ		0	0	0	0	0	0	0
安房地域医療センター		16	19	0	8	36	0	79
全体		32	42	4	20	52	0	150

12. 特別養護老人ホームめぐみの里

【事業及び定員】

・特別養護老人ホーム	78 名	・居宅介護支援(太陽会ケアプランセンター OHANA)
・地域密着型特別養護老人ホーム	20 名	・居宅介護支援(太陽会ケアプランセンター OHANA 鴨川)
・短期入所生活介護	12 名	・介護予防事業(短期、通所、居宅)
・地域密着型通所介護	18 名	・鴨川市ひまわり配食サービス

【運営実績】

2025 年度も高稼働率の維持を念頭に事業を運営してきたが、各事業とも目標の稼働率を下回る結果となった。感染症によるクラスターの発生等はなかったが、入所、通所とも体調を崩し入院する方が多く、思うように稼働率が上がらなかった。ショートステイについては、前年度後半に発生したクラスターによる閉鎖の影響で低下した稼働率の回復までに時間を要した。

施設設備については、館内の照明を LED に更新、空調機器に節電・省エネシステムを設置し、電気料金の削減につながったが、それ以降は、イラン情勢の影響により、非常に不透明なものとなっている。また、それ以外の部分においても食材費、燃料費、消耗品、日用品に至るまであらゆる物価の高騰のあおりを受け、非常に厳しい状況となっている。

◆ サービス提供実績

	入 所	ユニット	短 期	通 所
稼働率	95.3%	95.3%	68.6%	73.2%
平均年齢	88.8 歳	87.5 歳	85.6 歳	86.8 歳
最高年齢	105 歳	98 歳	101 歳	100 歳
最低年齢	70 歳	64 歳	44 歳	44 歳
平均介護度	3.9	3.9	3.2	2.1
新規利用者数	19	6	47	13
退所者数	18	5	—	—

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・収入の最大化と安定化を目的として、稼働率の維持・向上を図るため、サービス調整会議、空き情報管理、関係機関との連携、営業活動を継続して行ってきたが、2025 年度は前年度に比べ、入院者が 24% 増加したこともあり、稼働率も前年度を下回る結果となった。
- ・介護職員の業務負担軽減とコスト削減を目的に「令和 7 年度千葉県介護テクノロジー定着支援事業費補助金」を活用した介護ロボットの導入を計画していたが、事前申請の段階で補助金の減額が生じたため、本申請と介護ロボットの導入を断念した。導入については、次年度以降も継続して検討していく。
- ・照明の LED 化や節電・省エネシステムの導入により、電気料金を削減することができたが、物価の高騰により、あらゆる費用が増加している。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・業務の無駄をなくし、介護職員が直接ケアに集中できる体制へ再構築するため、業務プロセスの見直しを行った。日常業務の中で、不必要なものがないか見極め、見直しを行い、サービスの品質向上に努めた。次年度も継続課題として取り組んでいく。
- ・業務改善、ヘルプ機能の強化のため、職員のグループ間異動を継続して行った。
- ・チームケアを大切に、職員一人ひとりが目標を持って業務に取り組み、研鑽しながら、マナーとサービスの質・能力の向上に努めた。
- ・働きやすい環境整備のため、設備の整備に関しては、優先順位をつけ必要なものから随時実施した。

◆ 地域社会への取り組み

- ・行政や各団体等の関係機関が開催する研修や会合に参加し、地域における課題等の情報共有を図った。
- ・感染対策を実施しながら、対面での面会の実施、「介護サービス相談員」の訪問活動、看護・介護の実習の受入など、ご利用者が施設外の人と触れ合える機会を確保するよう努めた。
- ・引き続き、大山地区社会福祉協議会の買い物支援に対し、車両の貸し出し支援を行った。
- ・実際の利用はなかったが、災害の発生時に特別な配慮を必要とする方々に対し、鴨川市と連携を図り、「福祉避難所」の開設について対応した。

【居宅介護支援】(太陽会ケアプランセンターOHANA)

2025年4月にケアマネジャーが1名増員され、8名体制となった。2025年10月に事業所を館山市正木から館山市山本に移転。「訪問看護ステーションおひさま」、「安房地域医療センター」との連携がさらに強化されている。2025年11月に「太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川」が開設、4名体制となる。2026年1月には、ケアマネジャーが1名増員され、5名体制となっている。

月別請求件数

2025.4.1～2026.3.31(人)

状態区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1～5	186	195	190	191	190	189	201	112	121	113	109	104	1,901
要支援1～2	59	59	63	63	62	61	63	23	25	25	30	24	557
合 計	245	254	253	254	252	250	264	135	146	138	139	128	2,458

【居宅介護支援】(太陽会ケアプランセンターOHANA 鴨川)

2025年11月に鴨川市東町で居宅介護支援事業所として新たに開設。鴨川市でも人口が多い東条地区で、グループ会社が運営する訪問介護事業所と、福祉用具レンタル・販売サービス事業所と同じ建物内に同居したことで、サービスの連携・迅速化をはじめとした質の高いケアマネジメントの提供が可能となった。鴨川市民からの依頼も増加しており、「鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊」とも連携しながら、ご利用者の自立した生活ができるよう支援を行っている。

月別請求件数

2025.11.1～2026.3.31(人)

状態区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1～5	—	—	—	—	—	—	—	86	95	100	102	106	489
要支援1～2	—	—	—	—	—	—	—	35	34	33	31	30	163
合 計	—	—	—	—	—	—	—	121	129	133	133	136	652

13. 介護老人保健施設たいよう

【事業及び定員】

- ・介護老人保健施設 100 名
- ・(介護予防)短期入所療養介護 空床利用型
- ・(介護予防)通所リハビリテーション 1 日利用型 40 名 短時間利用型 20 名×3 枠
- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護(ケアサポートセンターMOANA)

【運営実績】

- ・ご利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援することを目指し、ご利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供した。また、接遇チェックリストを改正し、評価を行った。
- ・各所属で実際に業務を行っている職員の意見を反映し、作業の効率化と簡素化を進め、実践的で効果的な改善を図ることを目指し、3 部署で6 本の手順書・業務フローを改正した。
- ・OJT リーダー(日本人と外国人各 1 名ずつ)を配置し、先輩職員によるサポート体制を確立し、特に外国人職員の育成に努めた。
- ・稼働目標では、定員に対する稼働率が伸びない時期が続いており、当面は 90%を目標として、その稼働に見合うよう介護職員の配置のスリム化を図ることとした。他部門への異動などにより、入所は4月比で1割強の人員削減を行った。
- ・介護機器は特別浴装置を更新した。昇降浴槽型からドーム型ミスト浴に変更し、温まりが早く喜ばれている。また、昇降機構が無いため、急な停電時に脱出できなくなるリスクも回避できるようになった。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護	延べ利用人数 32,218 人	稼働率 88.3%
(介護予防)通所リハビリテーション	延べ利用人数 8,190 人(1 日利用型) 8,410 人(短時間利用型)	延べ利用人数 62.8%(1 日利用型) 70.4%(短時間利用型)
ケアサポートセンターMOANA	延べ利用人数 52 人	月平均利用人数 4.7 人

所定疾患施設療養費Ⅱの算定状況

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
肺炎	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
尿路感染	11	13	7	3	9	17	21	12	40	24	6	24	187
带状疱疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蜂窩織炎	20	3	4	16	10	0	0	0	16	25	29	26	149
慢性心不全の憎悪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 所定疾患施設療養費の算定状況は、公表義務情報。

◆財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・稼働目標では、定員に対する稼働率が伸びない時期が続いており、当面は90%を目標として、その稼働に見合うよう介護職員の配置のスリム化を図ることとした。他部門への異動などにより入所担当で4月比で1割強の削減をした。今後も稼働状況と見ながら要員配置の見直しを進めていく。
- ・利用者の新規入所者の獲得拡大のため、相談員部門の強化を図った（非常勤1名）。
- ・医療法人鉄蕉会リハビリ部門の協力のもと、2月より「たいよう増収プロジェクト」を立ち上げ、たいよう入所に向けた調整機能の強化と、継続的な検討を進めている。

◆人材育成と職場環境の整備

人材育成

- ・外国人職員の比率が高くなってきたことから、OJTリーダー（日本人と外国人各1名ずつ）を配置することで先輩職員によるサポート体制を敷き、とくに外国人職員の育成に努めた。介護の実務的な部分では、丁寧な対応が日本人職員よりも高い評価を受ける者も出てきている。

職場環境

- ・特別浴装置のミスト浴では、ミストが空気中に熱をより多く放出するようになった。浴室にはエアコンが無いため、入浴介護をする職員の心身に負荷がかかってきている。2026年度には解決したい。

◆地域社会への取り組み

- ・長狭高校の医療・福祉コースへの講師の派遣を継続した。
- ・地区社協に参加するなど、地域活動への貢献を継続した。
- ・自治体やケアマネ、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担った。
- ・津波避難ビルとして鴨川市と協定を結び、大規模な震災に備えて地域住民の一時避難場所として安全と安心に寄与している。

◆行事及び会議等

行事

- ・毎月1回程度の行事を計画し実施した。
- ・消防訓練や設備の維持点検は、法令に則って適切に行った。

会議

- ・法令等または施設の規則で定められた会議体は、原則としてその定めに従って開催した。臨時に必要な会議等や所属ごとに行う会議は、適宜開催した。

〔法令等の定めによるもの、介護給付の加算の算定に必要なものなど〕

業務継続(BCP)委員会(災害・感染症) 労働衛生委員会 安全対策委員会

身体的拘束等適正化委員会 虐待防止等対策委員会 感染症・食中毒対策委員会

終末期ケア委員会 給食会議 生産性向上委員会 MOANA運営推進会議

14. ケアハウスまんぼう

【事業及び定員】

・軽費老人ホーム(ケアハウス) 50 名

【運営実績】

入居稼働率を上げるため、いくつかの施策を講じてきたが、年間平均は 92.4%と、前年度より 2.8 ポイント下回る結果となった。さらに、昨今の物価高騰の波が運営を圧迫し、施設経営としては非常に厳しい年度となった。

しかし、この逆境を好機と捉え、業務改善や AI の積極的な活用による生産性向上に注力した結果、これまで「当たり前」として行われてきた無駄を排除することで、職員の負担軽減と新たな時間の創出を実現することができた。これにより、職員の働き方の柔軟性が高まるとともに、ご入居者一人ひとりのニーズに寄り添った、より手厚い支援や新たなアクティビティを増やすことが可能となってきた。

次年度は、さらなるサービス品質の向上と地域との顔の見える関係を構築することで、ご入居者が常に笑顔で自分らしくいられる施設づくりと、物価高騰に左右されない安定した施設経営を進めていく。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

稼働率	平均年齢	最高年齢	最低年齢	平均介護度	新規入居者数	退所者数
92.4%	81.7 歳	99 歳	75 歳	1.8	10 名	12 名

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・施設利用率の向上を最重要課題として取り組み、ホームページや X への投稿、地域で活躍するケアサポーターと話し合いの機会を持つことで、年平均 92.4%の利用率となった。
- ・高齢者施設間や、居宅介護支援事業所との連携を密にすることで、入退所時の急なサービス利用にも対応することができた。また、様々な外部サービスの介入によって、今までどおり、「ケアハウスまんぼう」での生活を維持することで、施設経営にもプラスに働いた。
- ・物品の見直しを行うことで、年間 8 万円以上の経費削減に成功した。また、業務上の無駄を見つけ、給湯時間の見直しを行うことで、給湯量の削減にもつながった。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・福祉分野で求められている、高齢者虐待防止や身体拘束適正化、感染症予防、事故発生防止、BCP、ハラスメント防止対策等の研修を確実に行った結果、職員一人ひとりのクオリティを高めることで、ご入居者の安心安全を提供することができた。
- ・AIを活用することで、研修資料の作成や報告、会議録作成の簡略化につなげることができ、職員の業務負担の軽減を実行することができた。

◆ 地域社会への取り組み

- ・「鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊」や、居宅介護支援事業所、地域の介護予防サポーター等とのネットワークを築き、「困った時に相談される施設」として、地域福祉に貢献した。
- ・「ケアハウスまんぼう」に来所する移動販売の回数を増やし、地域へチラシを配布する等して、案内することで、地域住民の利便性の向上、「ケアハウスまんぼう」のご入居者と、地域の方々の接点を作る取り組みを行った。

◆ 行事及び会議等

- ・法令基準に基づいた各種会議や委員会を開催することで、ケアハウスの運営を適切に行ってきた。また、最新の福祉の動向に目を向け、AI導入にあたっての勉強会や職員のスキルアップを目的とした研修を随時、行ってきたことで、いくつかの業務改善による生産性の向上が実現できた。
- ・行事では、月に1回だった定例の「買い物デー」を月2回に増やし、セブンイレブンとイオンの移動販売を隔週で設定した。また、「外出デイ」や折り紙、カラオケ、体操などのクラブ活動も活発に行い、天気の良い日には、施設周辺の環境整備を行うことで、気分転換や季節を感じてもらう取り組みを行った。

15. 障害者支援施設しあわせの里

【事業及び定員】

・施設入所支援	70 名
・生活介護	70 名
・短期入所	10 名
・相談支援事業	

【運営実績】

ご利用者本位の意思決定支援を基本とし、ご利用者の思いや要望を、個別支援計画に反映したケアを実践した。そのための職員教育・研修に取り組み、施設内では、虐待防止・身体拘束適正化・自然災害や感染症による BCP(事業継続計画)研修・シミュレーション訓練を実施した。施設外では医療的ケア(喀痰・吸引・経管栄養)・ケアガイドライン、職員の視野を広げるために障害者施設の大会や研修に参加し、職員のスキルアップを図った。

稼働状況については、例年と比較すると今年度は退所者・入院者が多かった。施設入所支援が、前年比－3.6%、生活介護で－2.8%、短期入所は－5.2%と減少し、厳しい状況となった。相談支援事業は－1件/月で、ほぼ例年並であった。

退所者・入所者が多かった要因の一つとして、ご利用者の高齢化が挙げられる。当事業所も開所から 36 年を経過し、当時、若くして入所されたご利用者が年齢を重ね高齢化し、受診や入院、体調を崩しやすくなるなど、医療依存度も高くなってきている。

また、2025 年度から義務化された障害者入所施設に定められた「地域連携推進会議」を 11 月に開催し、地域住民等と意見交換を行った。

施設のインフラ整備として、ボイラーの更新工事、厨房配管工事、高圧ケーブル工事、Wi-Fi の増設工事を実施した。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

事業種別等	目標値	2025 年度	2024 年度
施設入所支援	98.5%	94.1%	97.7%
生活介護	95.0%	90.2%	93.0%
短期入所	70.0%	64.1%	69.3%
相談支援事業	23 件/月	21 件/月	22 件/月

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・感染症に対する職員意識の向上で、感染症拡大の防止に努めた。
- ・短期入所において、千葉県福祉サービス第三者評価(評価機関:株式会社日本ビジネスシステムズ株式会社)を、受審(更新)した(評価実施期間:令和8年1月1日～令和8年4月8日)。
- ・物価や燃料費の高騰に対して、節電等のコスト削減に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・障害者支援、虐待防止、身体拘束適正化、BCP(事業継続計画)感染予防、災害対策の他、生産活動や障害者施設全国大会、医療的ケア、ケアガイドラインに関する研修に重点を置いた。
- ・施設設備の老朽化に伴い、ボイラーの更新工事、厨房配管工事、高圧ケーブル工事、Wi-Fiの増設工事、感染対策として「Airdog(エアドッグ)」「(空気清浄機)」を導入した。

◆ 地域社会への取り組み

- ・11月に地域連携推進会議を実施。ご利用者・ご家族・地域住民・行政機関等にご参加いただき、施設見学や交流、意見交換を行った。
- ・少子高齢化地域の人材不足問題に対して、積極的に近隣の学校等から実習生の受入を実施した。

◆ 行事及び会議等

・行事

- 4月 お花見、外出(ベイシア・しまむら)、マクドナルド
- 5月 外出(かつば寿司・ベイシア・ユニクロ・鴨川シーワールド・道の駅保田小)
- 6月 オセロ大会、八天堂クリームパン
- 7月 パンまつり
- 8月 流しそうめん
- 9月 かき氷、オルカ鴨川応援
- 10月 オルカ鴨川応援、ボッチャ大会、ベトナム料理
- 11月 金谷フェリー、かつば寿司、木更津イオンモール
- 12月 クリスマス会、イルミネーション、ドイツ村、ベイシア、鴨川バウム、カインズホーム、ユニクロ
- 1月 新年会、初詣、かつば寿司
- 2月 節分豆まき
- 3月 いちご狩り

・会議

- 施設内経営会議 虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 感染管理委員会
- 施設内安全管理委員会
- ※各指針等に基づき定例で開催。

16. 障害福祉サービス事業所らんまん

【事業及び定員】

・就労継続支援B型	38 名	従たる事業所(らんまん和田事業所)	10 名
・自立訓練(生活訓練)	6 名		
・共同生活援助(ケアホームらんまん)	25 名		

※2025 年3月末日で、共同生活援助(グループ星の砂)を事業廃止(定員7名)し、2025 年4月1日付けで共同生活援助(ケアホームらんまん)の共同生活住居として追加。定員を 18 名から 25 名に変更。

【運営実績】

らんまんでは、学生食堂2カ所の運営を中心とした就労の場を提供し、障害を持たれた方が地域の中で役割を持ち、主体的に参加できる環境づくりに取り組んできた。

物価高騰や慢性的な人材不足など、福祉事業を取り巻く経営環境が一層厳しさを増す中においても、事業種間の連携強化、業務の効率化、柔軟な人員配置を進めることで、年間を通じて利用率に大きな落ち込みもなく、安定した運営体制を維持することができた。就労継続支援 B 型、自立訓練(生活訓練)、共同生活援助(グループホーム)のいずれの事業種別においても、ご利用者の生活リズムの安定と継続的な利用の確保が図られた。

特に就労継続支援 B 型事業においては、作業工程の見直しによる効率化、新規作業の導入、既存作業の単価見直しを行い、生産性の向上と報酬評価を意識した作業体制の構築を図った。作業工賃については、支援の質と収益性の両立を図った結果、全国平均水準を上回る実績を確保できた。

また、新規利用者3名の受入れにもつながり、次年度以降の安定的な運営に向けた基盤づくりとなった。

なお、自立訓練(生活訓練)は、特別支援学校を卒業された方など、利用対象者が多かったため、前年度比で施設利用率(2024 年度:47.9%)が大幅に増加している。

◆ サービス提供実績

(1) 施設利用率実績

事業種別等	施設利用率
就労継続支援 B 型	93.0%
自立訓練(生活訓練)	93.2%
ケアホームらんまん	99.5%

(2) 作業工賃額等実績

項 目	金 額
年間売上額	41,782,264 円
平均工賃額	27,286 円
全国平均額(令和6年度)	24,141 円

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・物価高騰等による厳しい経営環境の中においても、経費削減の徹底と、事業種間での柔軟かつ効率的な人員配置・兼務体制を構築することで、収支バランスの改善と事業継続性の確保に努めた。
- ・就労継続支援 B 型では、報酬評価につながる作業工賃額の向上に取り組み、27,000 円台まで向上し、次年度へつながる成果となった。
- ・利用率向上に向けた取り組みとして、花カフェでの作業に加え、新たにエビの陸上養殖の実証テストなど多様な作業活動の場を提供したことにより、ご利用者の選択肢と参加意欲の向上が図られ、その結果として3名の新規利用に結びついた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・事業種間での柔軟かつ効率的な人員配置・兼務割合の見直しによる相互連携体制。DX や AI を活用した生産性の向上に努めた。
- ・障害者支援分野と、各種作業活動に関する専門研修の計画的な受講により、質の高いサービス提供につながる研鑽に努めた。
- ・外国人アルバイト、障害者雇用等、多様な人材の継続的な雇用により、安定した人材の確保に努めた。

◆ 地域社会への取り組み

- ・就労の場及び地域交流の拠点として運営している「花カフェ」「亀ママキッチン」については、年間を通じて来店者数も安定し、順調な営業を継続することができた。学校のオープンキャンパスや学園祭等への協賛を通じて、ご利用者にとって実践的な就労体験の機会を提供するとともに、地域住民や学生との交流を促進し、社会参加の実感につなげることができた。
- ・農福連携の枝豆選別作業の継続受託に加え、新たにエビの陸上養殖の実証テストを開始した。本取組は、水産業と福祉を結びつけた新たな就労モデルの可能性を探るものであり、行政、教育機関、水産関係者等、地域とのつながりの強化に努めた。
- ・地域連携推進会議を開催し、関係機関及び地域関係者との意見交換を通じて、顔の見える関係づくりと事業運営の透明性の確保に努めた。

◆ 行事及び会議

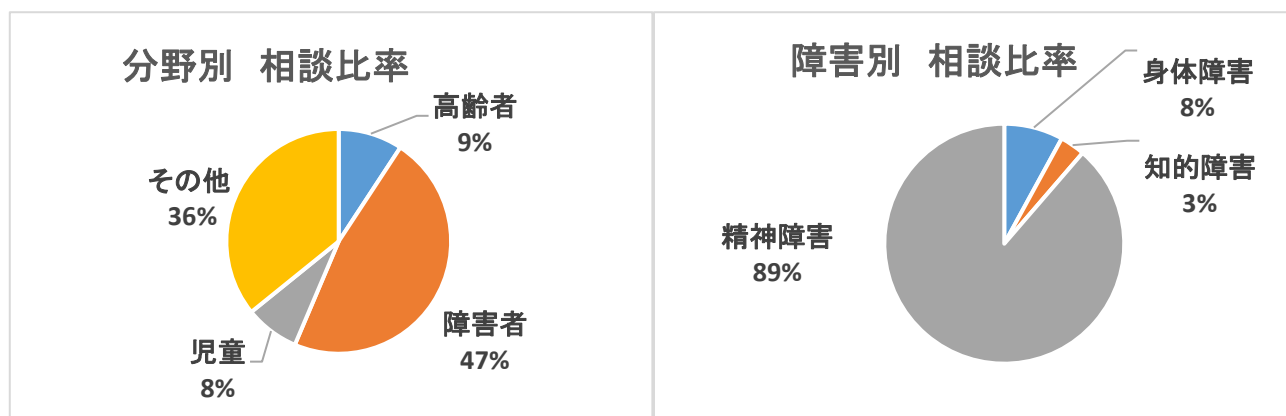
- ・南房総校オープンキャンパスや医療大学学園祭等への協賛・出店の他、季節のイベントを月 1 回程度実施し、ご利用者の生活の質の向上及び社会参加の機会創出に努めた。
- ・各種会議、委員会は、障害者総合支援法及び、各指針等に基づき定例で開催した。

17. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり

◆ 包括的相談支援事業

制度の狭間にある人、複合的な課題を抱えた人等を、分野横断的に幅広く受け止め、相手方に寄り添った支援を行う総合相談事業。2025年度の総相談件数は4,529件（うち新規相談者数は90人）、分野別では障害＞高齢＞児童と続くが、どの分野にも属さない「その他」も多いのが特徴。

相談内容は、希死念慮や自殺企図、ひきこもり、就労支援、仕事や住居への不満、夫婦間の問題、多重債務、進路が決まらぬままの卒業で繋がりを失う要支援者等、多岐にわたる中で、それぞれの専門機関と連携をしながら支援を行った。



◆ 地域総合コーディネート事業

安房圏域の地域課題を把握し、行政や各分野の支援者と問題意識を共有。互いのネットワークの強化を図った。2025度の新たな取り組みとしては、乳幼児精神保健福祉研修会開催の依頼を受け、「乳幼児精神保健福祉学会安房支部」の設立を提案し、研修会開催に至った。多くの関係機関や支援者の研鑽及び情報交換の場となり、次年度以降の活動支援も期待されている。

また、「フードバンク安房」に支援機関として参加し、安房地域の生活困窮者支援やフードロス対策の一翼を担った。その他、ひだまり独自の居場所づくり「あつまり」についても定期的な開催を継続することにより、地域の社会資源として定着しつつある。加えて、南房総ひきこもり支援協議会、南房総市ひきこもりプラットフォーム実務者会議、高次脳機能障害家族と支援者の会、視覚障害者当事者の会等への参加により、地域に繋がりにくい方々の参加の場の拡大に貢献した。

◆ 市町村等バックアップ事業

関係者や関係機関からの求めに応じて、助言等の支援を行い、市町村や各相談支援機関のスキルアップを図り、地域全体の対応力の向上を図った。2025年度は地域包括ケア連絡会の協力の下、重層支援体制整備事業についての勉強会を2回開催。亀田メディカルセンター所属の臨床心理士に「心理士の仕事を知る。自分の性格を知る。」「心のメンテナンス研修」と題した講演会を開催した。

参加者は行政機関や社会福祉協議会に留まらず、相談支援専門員、病院相談員等様々な職種が見られ、重層的支援体制整備事業への関心の高さが伺えた。

◆ 権利擁護事業

本人や家族が認識していない権利侵害や、権利を有しながらも必要な支援を受けられていないケース等、権利擁護についての積極的な把握に努めた。

児童虐待では、安房圏域3市1町すべての要保護児童対策地域協議会に参加、ひだまりで関わっているケースの情報提供等を積極的に発信した。高齢・障害分野も同様に、各市町の虐待防止ネットワークの委員として参加し、再発防止に努めた。

◆ 障害者グループホーム等支援事業

安房圏域のグループホーム及び生活ホーム(以下「GH等」という)は、2026年3月末現在 31 法人 122 住居となり、定員数 516 名となっている。

近年、障害者 GH の課題として、「GH の支援の質」と、強度行動障害や医療的ケア、入居者の高齢化に伴う身体介護等の専門分野に対応できる GH が少ないという課題があり、それぞれに対しチームに分かれ、視察の実施やスタッフへの教育内容や、対応方法等どのような体制が必要であるかを研究し、講座を通して発信した。

安房圏域の GH の推移

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
住居数	41	51	53	58	68	85	87	93	117	123	124	127	122
定員数	175	226	231	249	294	370	390	413	508	531	534	545	516

◆ 生活困窮者自立相談支援事業

既存の制度では十分に対応できなかった生活保護に至る前段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施。定期的に支援調整会議を開催し、関係機関との情報共有やプラン内容の評価等について協議し、連携体制を構築した。受託事業は以下3事業で鋸南町を担当。

a. 自立相談支援事業 b. 就労準備支援事業 c. 家計改善支援事業

2025年度は延べ28人の生活困窮者に対して支援した。長期目標を立て、短期目標の成功体験を積み上げることを基本とした支援を行った。関係機関との連携は強化されており、町からの介入依頼も増えている。本年度は就労準備支援のケースが増加し、行政、ハローワーク等と連携し、就労体験場所の開拓や実施に繋げた。

◆ 校内居場所づくり事業

家庭環境等様々な要因により生活困難な状況にある子どもを早期に発見し、福祉的支援に繋げる目的で、行政、社会福祉協議会、相談支援事業所、時には医師や看護学校の生徒ボランティア等の協力を得ながら、高等学校内で月1回(原則)開催した。参加生徒数は平均80名前後と増加傾向となっており、食料支援に加え、学校以外の大人と関われる場として、開催の意義を感じている。次年度も県の事業として継続する事が確定したが、自走に向けて食品確保などが課題となっている。その中で、フードバンク安房の運営メンバーとして寄付等を通して校内居場所の食品提供に繋げる活動を開始した。

今後は県のモデル事業終了後の自走に向けた運営費用等の確保も必要となることから、来年度以降の課題として取り組んでいくことになった。

18. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊

【運営実績】

前年度に引き続き、総合相談や介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメントや権利擁護等の各事業を行った。総合相談の相談件数は、前年度に比べ減少傾向だが、複合的な課題を抱える事例や認知症の方の事例、虐待の事例等、一つひとつの対応が難しい事例が増えており、「鴨川市福祉総合相談センター」をはじめとした、各関係機関と連携しながら対応した。

また、「認知症機能強化型包括支援センター」としての活動については、認知症関連の各会議への参加や介護教室の開催、昨年度行った「認知症支援に関する困りごとアンケート」の結果を基にした市内在宅系サービス事業所に従事する専門職を対象として、認知症高齢者の支援に関する意見交換を実施した。

◆ 総合相談事業

相談受付実績 238 件

高齢者	障害者	児童	DV その他	合計
225 件	3 件	2 件	8 件	238 件

- ・昨年と比較し減少している。高齢者の相談は、介護保険申請やサービスの相談が半数を占めている。
- ・高齢者相談においても、介護者に支援が必要な事例等、対応が困難な事例が増加傾向にある。

◆ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防請求件数 1,066 件

鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	委託	合計	委託率
512 件	554 件	1,066 件	51.9%

介護予防ケアマネジメント(介護予防・生活支援サービス事業) 331 件

鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	委託	合計	委託率
155 件	176 件	331 件	53.1%

- ・介護予防支援や介護予防・生活支援サービス事業について、介護予防プラン作成やサービス調整を行い委託介護支援事業者に対し、介護予防支援計画書作成の指導等を行った。

◆ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

相談件数	困難ケース	個別支援会議の開催
34 件	3 件	3 件

- ・介護支援専門員からの相談を受け付け、介護支援専門員の能力の向上を図りながら課題解決できるよう、他関係機関と連携を図りながら支援を行った。

◆ 権利擁護事業

年間権利擁護相談件数	成年後見制度利用支援相談数	虐待対応相談件数
0件	0件	9件 【内訳】虐待の事実あり:5件 虐待の事実なし:3件 事実確認中:1件

通報・相談者内訳

本人	介護支援専門員	警察	病院関係者	合計
0件	6件	1件	2件	9件

虐待類型内訳

身体的虐待	心理的虐待	放棄・放任	合計
※2件	4件	3件	9件

※心理的虐待と重複。

・虐待を疑う相談があった場合には、速やかに鴨川市福祉総合相談センターや鴨川市福祉課に報告し、各関係機関と連携しながら対応した。

◆ 認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チーム員会議	6回
認知症サロン(こんにちはカフェ)	9回
認知症家族のつどい	1回
認知症地域支援推進員会議	1回
介護教室	4回
認知症サポーター養成講座	1回
「認知症高齢者の支援に関する意見交換会」	2025年9月17日 実施

- ・認知症に関しての民生委員や家族等からの情報や相談等に対して個別支援を行うと同時に、認知症サポーター養成講座や認知症サロンの開催を通して認知症の普及啓発を行った。
- ・認知症施策の検討のため、介護教室や昨年度行った在宅系介護サービス事業所職員対象の「認知症支援に関する困りごと」アンケートの結果を基に、市内在宅系サービス事業所に従事する専門職を対象として「認知症高齢者の支援に関する意見交換会」を実施し、実際に認知症高齢者の支援を行う中での悩み等の把握に努めた。

◆ 研修参加報告

年間研修参加回数 45回

地域包括支援センター・介護保険関連研修	16回
虐待研修	5回
認知症関連研修	4回
医療関連研修	16回
災害関連研修	4回

19. 安房地域医療センター

1. 診療実績

(1) 入院	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
のべ患者数(1 日平均)	50,740(139) 人	51,706(142) 人	50,239(138) 人	97.2%
新入院患者数	3,036 人	3,395 人	3,516 人	103.6%
退院患者数	3,058 人	3,367 人	3,517 人	104.5%
平均在院日数	16.9 日	15.4 日	14.9 日	96.8%
病床稼働率	93.0%	95.1%	92.4%	97.2%
診療単価	60,194 円	63,247 円	66,217 円	104.7%
診療収益(室料除く)	2,871,600,796 円	3,076,486,553 円	3,135,871,955 円	101.9%
(2) 外来	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
のべ患者数(1 日平均)	146,930(484) 人	149,992(495) 人	149,461(494) 人	99.6%
(うち救急患者数)	18,381 人	18,876 人	18,374 人	97.3%
(うち救急搬送数)	2,818 人	2,849 人	2,756 人	96.7%
診療単価	12,974 円	13,142 円	13,768 円	104.8%
診療収益	1,881,100,376 円	1,941,821,995 円	2,024,934,660 円	104.3%
(3) 手術	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
整形外科	597 件	703 件	628 件	89.3%
泌尿器科	283 件	294 件	326 件	110.9%
人工透析	54 件	49 件	60 件	122.4%
外科	47 件	173 件	150 件	86.7%
婦人科	10 件	10 件	33 件	330.0%
乳腺外科	15 件	37 件	57 件	154.1%
眼科	一件	一件	435 件	—
計	1,006 件	1,266 件	1,689 件	133.4%
(4) 心臓カテーテル	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
実施件数	741 件	617 件	512 件	83.0%
(5) 人工透析	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
実施件数	17,109 件	17,522 件	17,770 件	101.4%

2. 健診・検診実績

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
実施件数	55,285 件	54,763 件	54,255 件	99.1%
保険予防活動収益	409,126,392 円	427,246,985 円	426,388,711 円	99.8%

3. 職員数

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	前年度比
実人数(常勤換算)	666(548.3) 人	681(558.4) 人	670(551.8) 人	98.4%

入院患者数は、50,239 人(1 日平均 138 人)、前年度比 1,467 人減(▲2.8%)。在院患者数(のべ患者数－退院患者数)も同 1,617 人減(▲3.3%)となり、例年と比較して年間を通じて低い水準で推移した。これは、在院日数の適正化が進展したことに加え、眼科をはじめとする短期入院患者数の増加によるものであった。一方、入退院患者数は過去最多を記録しており、病床回転の上昇が稼働実績を一定程度下支えた。これにより、病床稼働率は 92.4%と直近 5 年で最も低い値となったものの、平均在院日数は 14.9 日と前年度から 0.5 日短縮された。滞在期間の短縮と入退院数の増加が同時に進んだことで、病床稼働が低下する状況下においても、病床運用は一定の機能性を保持したものと評価できる。

入院診療収益は 31 億 3,580 万円。前年度比 5,940 万円増(+1.9%)と 3 年連続での増収となった。主な要因は、手術料及び入院料収益の増加であり、両者合計で同 7,680 万円の増収となった。手術料については、眼科の新規開設をはじめ、泌尿器科及び乳腺外科の堅調な推移、婦人科の診療体制強化による件数増加が寄与した。入院料については、地域包括医療病棟が通年稼働となったことに加え、対象を 5 階病棟へ変更したことで、入院診療単価の上昇効果がより大きく反映されたことによるものだった。また、新入院患者数の増加も収益を押し上げる要因となった。診療単価は 66,217 円、前年度比+2,970 円。

外来患者数は 149,461 人(1 日平均 494 人)。前年度比 531 人減(▲0.4%)と、5 年ぶりに減少に転じたが、依然として高い水準を維持している。区分別では、一般外来及び救急が減少、人工透析は増加した。

一般外来は、眼科の新規開設による大幅な増加が見られたものの、整形外科等における体制縮小の影響が大きく、全体では前年度よりも減少した。救急については、大規模な感染症流行期がなかったことなどから、患者数、搬送数ともに前年度を下回った。人工透析は、新規導入数を維持したことにより、2 年連続での件数増加となった。

外来診療収益は 20 億 2,490 万円。前年度比 8,310 万円増(+4.3%)となり、過去最高額を更新した。区分別では、診察料が患者数減少の影響を受けた一方で、注射料及び手術料、検査料は増収となり、外来診療収益全体の増加を牽引した。これは主に、眼科、乳腺外科での高単価治療等の増加によるものであり、他の減収を補完する形となった。診療単価は 13,768 円、前年度比+626 円。

健診部門については、ワクチン接種事業は縮小したものの、本業たる事業所健診や人間ドックはいずれも前年度を上回った。

今年度は、手術件数の増加が大幅な増収へとつながった。しかしながら、人件費増加や物価高騰など経営の圧迫要因は多く、また、診療報酬体系も実情と見合っておらず、経営環境は厳しさを増している。次年度もあらゆる対策を講じていくことが求められる。

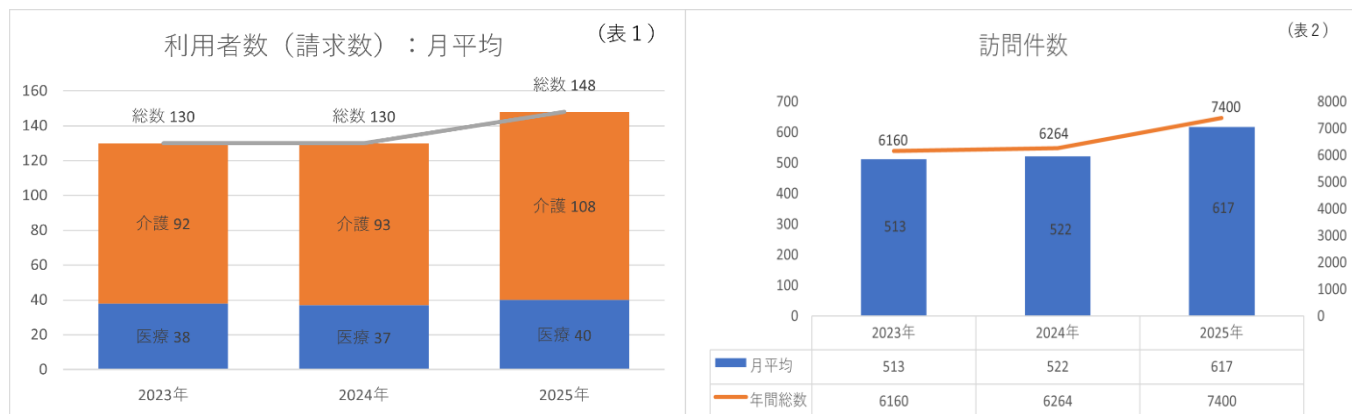
20. 訪問看護ステーションおひさま

【運営実績】

今年度は利用者数及び訪問件数ともに増加した(表 1.2)。

終末期や医療ニーズの高い利用者が全体の 6 割を占め、24 時間対応体制を維持しながら、医療機関との連携を強化し、在宅療養支援の充実を図った。

一方、職員負担や人材定着が課題であり、次年度はさらなる業務効率化と教育体制強化に取り組む必要がある。



【2025 年度振り返り】

財務の視点＞

- ・訪問件数 560 件/月を目標に掲げ、617 件/月と目標を大きく上回る実績であった。法人内外からの新規依頼が多く、新規 132 人、終了者 110 人と利用者数が増加。医療保険3割、介護保険7割を維持しつつ、終末期や医療ニーズの高い利用者への対応を計画的かつ迅速に行い、稼働率の維持や経営基盤の安定化を図ることができた。

顧客の視点＞

- ・円滑な入退院支援を目指し、Teams を活用した情報共有、退院前カンファレンスへの参加、退院日同日または翌日の訪問を積極的に実施した。また、法人内外の医療機関や居宅介護支援事業所との関係構築及び連携強化のため、積極的に足を運び、顔の見える関係性づくりや情報共有の迅速化に努めた。
- ・24 時間対応体制による緊急時の迅速な対応や自宅看取り支援を行い、安心安全な在宅療養の継続に貢献した。利用者満足度 95%以上と良い評価を得ている。

業務プロセスの視点＞

- ・運営会議で経営方針と目標の共通認識を図り、訪問件数及び稼働率を所内で共有することで、効率の良い訪問調整や稼働時間の平均化を図ることができた。
稼働率の維持・向上やオンコール対応者の負担軽減が課題であり、直行直帰の積極的な運用や ICT 活用による訪問外業務の強化に努める必要がある。
- ・特定看護師が在籍し、在宅での特定行為（気管カニューレ交換、胃ろう・膀胱瘻交換、慢性創傷の壊死組織除去）を定期的実施している。
連携医療機関は、安房地域医療センターと亀田ファミリークリニック館山の 2 施設だが、新たに皮膚科医師との連携構築を図ることができた。
特定看護師を増やすことが課題となっている。

学習と成長の視点＞

- ・新人及び異動に伴い3名の職員増加あり、人材育成の比重が大きかった。同行訪問や振り返りを繰り返し、3名とも単独訪問が実施できるようになった。
- ・各スタッフによる勉強会を月1回開催し、知識の共有や理解の深化に努めた。スタッフアンケートでも満足度・理解度で高い評価が得られているため、次年度も継続する。
また、シェアカンファレンスを週1回実施し、困難事例の課題解決や臨時訪問減少や転倒予防の取り組みなど、事業所全体のチーム力向上を図った。

【職員の配置状況】

看護職員 9名(常勤) 事務職員 1名

【業務内容】

1. 予防看護・地域看護・終末期看護・緩和ケア・家族看護・リハビリテーション等利用者の想いに添い、期待以上のサービスを提供するために主治医や、その他関連職種との密な連携のもとに訪問看護を実施している。
2. 24時間緊急時対応体制
利用者やその家族からの連絡(状態の変化や療養上の不安等)に、主治医と連携を図りながら24時間対応できる体制を整備している。また必要であれば土・日曜日、祝日での計画的な訪問看護も実施している。

【カンファレンス・連携・教育】

1. 安房在宅カンファレンス 第2木曜日 17:00～
安房地域医療センターの訪問診療をしている総合診療科の医師と、共通の利用者についての情報共有や方針相談などを実施している。
2. 亀田ファミリークリニック館山在宅カンファレンス 第3水曜日 17:15～
関係職種(医師、リハビリ、ケアマネジャー等)と共通の利用者について、Office365内 Teamsアプリを利用し日々の情報共有をしている。
また、安房地域医療センターと同様に、共通の利用者についての方針決定やお看取り後の振り返りを月1回実施している。
3. 他院との連携
地域の開業医等からの訪問看護導入の相談が適宜発生し、各施設のソーシャルワーカーや担当医師、看護師との連携を図り対応している。また、必要時退院前カンファレンスへの参加も実施している。
4. 医療的ケア児等支援ワーキング
行政や障害福祉関係者と連携し適宜会議を実施している。今年度は医療的ケア児コーディネーター業務も実施した。
5. 教育
医療施設からの研修医見学など、積極的に受け入れをしている。
安房地域の看護学校(亀田医療大学、亀田医療技術専門学校、安房医療福祉専門学校)からの実習生受け入れや、亀田医療大学の非常勤講師として在宅看護論の講義を担っている。
6. 特定行為
特定行為看護師が在籍し、主治医からの指示(手順書)にて対応している。

21. 安房医療福祉専門学校

【運営実績】

開校 12 年目の 2025 年度は、3 年生(10 期生) 39 名全員が第 115 回国家試験に合格し、看護師として安房地域医療センター(18 名)をはじめとする安房地域を主とした医療機関に就職した。過去 10 年間で 333 名の卒業生の内、264 名(79%)が3市1町に就職し、安房地域医療の維持・発展に大きく寄与している。

なお、国家試験において合格率 100%を達成したのは 10 回中5回となり、教員による国家試験対策を1 年次から試験直前まで徹底して実施した結果が十分に表れている。また、昨年度不合格であった1名の既卒者に対してもしっかりとフォローを行い合格した。これにより、今年度は新卒既卒者合計の合格率が 100%となり、千葉県内の看護師養成学校(大学・専門) 36 校中3校しか達成していない輝かしい結果となった。

学生募集では、オープンキャンパスへの参加促進と、今年度より新しく導入した総合型選抜(AO 入試)をアピールすることに注力し、受験媒体やインスタグラムなどによる情報発信、高校訪問の強化ときめ細やかな営業活動、高校ガイダンスへ積極的に出向くなど、多岐にわたり募集活動を実施した。最終的に昨年比でオープンキャンパス参加者は大幅な増加、入試では総合型選抜(AO 入試)で 18 名の早期入学者を獲得、指定校推薦入学者も増加となった。また、新たに導入した入学者紹介制度で2名、外国人(留学生)も1名が入学、最終入学者は 36 名(定員の 9 割)となり、太陽会奨学生は 28 名(78%)を確保することができた。

・学生の状況(2026 年3月1日時点)

(1) 性別

(人数)

	1 年生(12 期生)	2 年生(11 期生)	3 年生(10 期生)	合計
男性	2	4	5	11
女性	18	26	34	78
合計	20	30	39	89

(2) 高校新卒者／社会人(高校新卒者以外)の別

(人数)

	1 年生(12 期生)	2 年生(11 期生)	3 年生(10 期生)	合計
高校新卒者	14	23	31	68
社会人	6	7	8	21
合計	20	30	39	89

(3) 住所地(出身地)別状況

(人数)

	1 年生(12 期生)	2 年生(11 期生)	3 年生(10 期生)	合計
安房3市1町合計	7	15	13	35
館山市	3	7	8	17
南房総市	3	7	5	15
鴨川市	0	1	0	1
鋸南町	2	0	0	2
千葉県内その他	7	8	18	33
千葉県外	6	7	8	21
合計	20	30	39	89

(4) 学生寮入居状況

(人数)

	1 年生(12 期生)	2 年生(11 期生)	3 年生(10 期生)	合計
男性	0	3	2	5
女性	13	10	20	43
合計	13	13	22	48

・看護師国家試験(第115回)

	受験者	合格者	合格率	全国平均	備考
現役	39名	39名	100%	94.1%	本校の合格率は毎年全国平均(合計)を上回っており、10回中5回は100%。今年度新卒既卒合計で100%達成は千葉県内看護師養成学校(大学・専門)で36校中3校のみ。
既卒	1名	1名	100%	32.3%	
合計	40名	40名	100%	88.3%	

・卒業生(2026年3月)就職状況

就職先の所在地	人数	就職先の所在地	人数
館山市	22名	東京都	2名
鴨川市	2名	神奈川県	1名
その他千葉県	11名	埼玉県	1名
		合計	39名

・オープンキャンパス(学校説明会含)参加者の推移(10年間)

(のべ人数)

開催年度 区分	2016 4期生	2017 5期生	2018 6期生	2019 7期生	2020 8期生	2021 9期生	2022 10期生	2023 11期生	2024 12期生	2025 13期生
高校3年生	45	61	64	44	43	59	76	52	26	58
社会人他	33	24	28	48	36	32	21	14	14	14
当年受験対象者計	78	85	92	92	79	91	97	66	40	72
高校1・2年生	29	18	37	22	4	12	9	11	9	23
参加者合計	107	103	129	114	83	103	106	77	49	95

・高校新卒者の学校推薦、総合型選抜(AO入試)受験による入学者数の推移(10年間)

年度 区分	2016 4期生	2017 5期生	2018 6期生	2019 7期生	2020 8期生	2021 9期生	2022 10期生	2023 11期生	2024 12期生	2025 13期生
①指定校	9	5	5	3	9	8	17	7	4	9
②公募	7	6	12	5	1	18	15	11	5	3
学校推薦計①+②	16	11	17	8	10	26	32	18	9	12
総合型選抜(AO)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
入学者数(全体)既卒含	37	33	40	36	34	42	43	33	20	36

・入学試験の状況(2025年度実施13期生)

(受:受験数 合:合格数 入:入学数)

日程 区分	総合型選抜 (9/20) A日程 (10/11)			B日程 (11/8)			C日程 (12/6)			D日程 (1/17)			E日程 (2/14)			F日程 (3/14)			合計		
	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入
総合型選抜(AO)	21	18	18	対象外			対象外			対象外			対象外			対象外			21	18	18
指定校推薦	9	9	9																9	9	9
公募推薦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	対象外			対象外			3	3	3
社会人推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	0
一般	対象外			3	2	1	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	11	7	6
合計	31	28	28	4	3	2	5	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	44	37	36

22. 安房医療福祉専門学校南房総校

【運営実績】

今年度の介護福祉士学科卒業生は 10 名で、第 38 回介護福祉士国家試験の合格率は 70% (新卒) であった。残念ながら、新卒者 3 名と既卒者 5 名は合格には至らなかったが、今年度より介護福祉士国家試験に導入された「パート合格 (合格パートの受験免除)」制度の対象となっており、次年度の合格が期待される。

日本語学科は 2026 年度 19 名 (太陽会奨学金枠定員: 20 名) が入学した。内訳は、太陽会奨学生 10 名、自費留学生 1 名、「千葉県留学生受け入れプログラム」を活用した学生が 8 名。日本語能力不足により、1 名の在留許可が下りず 20 名には達しなかった。既存のドンア大学ルートに加え、「千葉県留学生プログラム」からの受け入れを進め、館山市内の介護事業者が、在学生のアルバイトを契機に、初めて日本語学科生を受け入れるなど、他法人介護事業所による入学実績も生まれた。こうした動きは今後の経営安定において重要である。介護福祉学科には、日本人学生 3 名、日本語学科からの内部進学 of 留学生 11 名、熊本・山口・兵庫・愛知・東京など、全国各地から入学生 (留学生) 20 名で、合計 34 名が入学している。

今年度より「太陽会キャリアカレッジ」を本校に移し、「介護福祉士実務者研修実務者研修」を実施した。

・学生の状況 (2026 年 3 月 1 日時点)

(1) 性別

(人数)

	日本語学科	介護福祉学科 1 年	介護福祉学科 2 年	合計
男性	1	2	2	5
女性	10	31	8	49
合計	11	33	10	54

(2) 住所地 (出身地) 別状況

(人数)

	日本語学科	介護福祉学科 1 年	介護福祉学科 2 年	合計
ベトナム	2	5	10	7
インドネシア	2	10	0	12
ネパール	7	14	0	21
フィリピン	0	1	0	1
スリランカ	0	2	0	2
日本	対象外	1	0	1
合計	11	33	10	54

(3) 学生寮入居状況

(人数 男:女)

	日本語学科	介護福祉学科 1 年	介護福祉学科 2 年	合計
川間アパート (鴨川市)	9 (1:8)	6 (1:5)	10 (2:8)	25
ラミアカーサ (鴨川市)	0	12 (1:11)	0	12
フローレンスガーデン (館山市)	0	11 (0:11)	0	11
その他	2 (0:2) 南房総市	4 (0:4) 鴨川市・館山市・南房総市	0	6
合計	11 (1:10)	33 (2:31)	10 (2:8)	54

・介護福祉士国家試験(第38回)

	受験者	合格者	合格率	全国平均	備考
現役	10名	7名	70.0%	70.1%	今年度より導入されたパート合格制度は、試験を3分野に分けて合否判定を行い、合格した分野については2年間合格パートの受験が免除される制度である。
(うち日本人)	0名	0名	—		
(うち留学生)	10名	7名	70.0%		
既卒	5名	0名	0%		

・卒業生(2026年3月)就職状況

就職先の所在地	人数
鴨川市	8名
御宿町	2名
合計	10名

・介護福祉学科 2026年4月入学者 内訳

入学者	入学のきっかけ	受験区分	備考
3名	太陽会の紹介	日本人	太陽会職員2名が入学。 鴨川令徳高校から1名入学。
20名	口コミ	留学生	在校生及び近隣在住の同国人より
11名	内部進学	留学生	ベトナム(千葉県留学生プログラム) インドネシア(TOMONI社) ネパール(TEWA社)

・日本語学科 2026年4月入学者(1年コース) 内訳

入学者	奨学金	備考
10名	太陽会	インドネシア(TOMONI社) ネパール(TEWA社) ベトナム(ドンア大学)
1名	自費留学	館山在住の親戚
8名	千葉県留学生受け入れプログラム	ベトナム(ドントー日本語学校) (JIS日本語学校) (ドンズー日本語学校) (TOKAI日本語学校)

【介護福祉士実務者研修】(太陽会キャリアカレッジ)

2016年度の介護福祉士国家試験の受験資格が実務経験年数3年から実務経験年数3年+450時間の実務者研修終了が義務づけられ、当法人ではご利用者に質の高いサービスを提供できるよう、また職員がキャリアアップを目指し仕事にやりがいを感じられるよう、プロフェッショナルな人材の育成・確保を目的に2017年度から4月、6月、8月、10月、12月、2月の6期(各定員20名)の開校。

2025年度の実績としては5月コースを開講、太陽会内部から1名、外部から7名の計8名が受講。今後も受講者を増やしていくよう広報に力を入れたい。

23. 認定こども園 OURS

【定員】

- ・認定こども園 OURS 390 名 ・一時預かり事業 15 名
- ・学童クラブ OURS 90 名 ・子育て短期支援事業 15 名 ・地域子育て支援拠点事業 15 名

【運営実績】

本年度は、児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる「こどもまんなか社会」の実現に寄与することを目的として、事業を運営した。職員教育及び組織体制の強化を推進し、OURS の理念・使命・目指す姿について職員一人ひとりの理解を深めながら、教育・保育の質の向上に努めた。

加えて、法人全体として事業拡充及び運営基盤の強化を図る中で、OURS イズムのさらなる定着と継承に取り組み、「質と量で子ども・子育て支援を支える」という使命の実現に向け、着実な前進を図る一年となった。

◆ サービス提供実績

事業種別等	利用率
認定こども園	71.4%
一時預かり事業	44.9%
放課後児童健全育成事業	124.9%
子育て短期支援事業	3.3 件/月
OURS アカデミー	7団体

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

財務基盤の強化に向けては、各事業における目標利用率の達成を目指すとともに、地域ニーズ及び市場動向を踏まえた事業運営を推進し、安定的な収支バランスの確保に努めた。支出面においては、各種委員会を中心として全部署で経費節減への意識醸成を図り、日常的なコスト管理を徹底した。

さらに、ICT 化の推進により業務のデジタル化及びペーパーレス化が大幅に進展し、印刷費・消耗品費等の削減と業務効率化による運営コストの適正化に寄与した。

◆ 人材育成と職場環境の整備

人材育成と職場環境の整備については、OURS の強みであるタスクシフト制を基盤として、各専門職がそれぞれの専門性を最大限に発揮できるよう、目的に応じた委員会運営を継続し、教育・保育の品質維持及び向上並びに働きやすい職場環境の整備に努めた。

人権擁護の観点からセルフチェックを継続的に実施し、職員一人ひとりの意識向上と保育の質の担保に努めた。

◆ 地域社会への取り組み

地域社会への取り組みについては、昨年度に引き続き、園行事である夏祭りにおいて地域の飲食店(キッチンカー)との連携を実施し、8店舗の協力を得ることができた。これにより、園運営上のリスク軽減を図りながら、地域事業者との連携強化及び園行事の活性化を両立することができた。

また、本年度は地域交流のさらなる充実を図るため、地域の高齢者施設、病院、介護施設等への訪問を積極的に実施し、利用者との交流機会を創出した。世代を超えた触れ合いを通じて、子どもたちの豊かな心の育成を図るとともに、地域に根差した園としての役割を果たす取り組みを推進した。

◆ 各種会議及び行事

月	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会・こどもの日会 手洗い・トイレの使い方指導	認定こども園 OURS の理念と約束について・現場に出る心構え・保健研修・調乳指導おむつ交換研修・立腰研修・各課連携研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	避難訓練・親子遠足 誕生会・不審者対応訓練 内科健診・歯科検診・検尿検査 ふわふわちくちく言葉・虫歯予防居室	虐待対応研修・不適切保育について・情報管理研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練・誕生会 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 虫歯予防・プライベートゾーンの話 WBGTについて	熱中症予防研修・プライベートゾーンパーソナルスペース研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 熱中症予防のお話	体育研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
8月	避難訓練・誕生会 視力聴力検査について・ケガのお話	災害研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練・防災教育 0歳児運動会・1歳児運動会 2歳児運動会・誕生会・幼児課運動会 オータムキャンプ トイレの使い方・ケガ予防のお話	嘔吐処理研修・環境整備研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練 誕生会・ハロウィンパーティー 目の大切さについて 予防接種について	アレルギーエピペン研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練 内科健診 手洗い月間・食事のマナー	感染症集団発生のため、研修中止 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
12月	0歳児発表会・1歳児発表会 2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 保健室の先生のお仕事	気になる子研修 乳幼児揺さぶられ症候群について・救命救急研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 風邪予防・咳エチケット	接遇身だしなみ研修・給食研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 プライベートゾーンのお話・歯磨き指導	KYT 研修 拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 ふわふわちくちく言葉	情報共有会議 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

24. 認定こども園 OURS 館山

【定員】

・認定こども園 OURS 294 名 ・一時預かり事業 12 名

【運営実績】

児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援、その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる、こどもまんなか社会の実現に寄与することを目的とし、2025 年度の事業を運営した。

館山市に新たな子育て文化を根付かせる事を念頭に、チャレンジが多い一年だった。社会情勢の変化・人口動態により保護者のニーズに沿った支援体制を提供し、延長保育、一時預かり保育、休日保育、地域子育て支援事業、病児保育(体調不良児対応型)で得られた実績を、館山市の子育て支援(周産期母子支援～子育て)の連結として実現、貢献した。

◆ サービス提供実績

事業種別等	利用率
教育・保育課	88.7%
一時預かり事業	47.6%

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

収入面においては、園児定員の充足に向けた広報活動の充実を図るとともに、地域ニーズを踏まえた教育・保育サービスの質の向上に努め、日々の Instagram で活動発信を行い、安定的な利用者確保に取り組んだ。

次に、支出面では、業務の効率化及びコスト意識の向上を図り、無駄の削減に取り組み、備品委員会による物品購入の見直しや在庫管理の適正化、ICT(連絡帳アプリ)の活用による事務作業の効率化などを推進し、経費の適正化を図った。

◆ 人材育成と職場環境の整備

開園一年目、これまで OURS で培ったノウハウを生かし、タスクシフト制で、それぞれのプロフェッショナルがしっかりと役目を果たせるように各委員会を編成し、品質の維持と向上、職場環境の整備に尽力した。年度末に行った顧客満足度調査結果からは 90%以上の満足度を獲得する事が出来、職員の意識改革に繋がった。また、キャリアアップ研修の積極的な推進、幹部候補の育成等、計画的に実施した。

◆ 地域社会への取り組み

安房地域で子育てする皆さんの、あらゆる「困った」に対応可能なシステムを構築し、館山にも質と量で支える、新たな子育て文化の価値を創造することができた。

園行事の夏祭りでは、地域の飲食店(キッチンカー)に SNS を通じてコラボを呼びかけ、6店舗に賛同をしていただいた。鴨川同様、地域貢献と園行事の活性化を同時に果たすことができた。

加えて、地域の小学校との連携を図り、就学前教育から小学校教育への円滑な接続に努めたほか、地域行事(祭り・防災訓練等)にも積極的に参加し、地域の一員としての役割を果たした。

◆ 各種会議及び行事

月	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会 手洗い・ハンカチの使い方	緊急時対応研修・拠点会議・拠点会議・カンファレンス会議・ 委員長会議・給食会議
5月	避難訓練・こどもの日会 誕生会・不審者対応訓練 親子遠足 歯磨き指導・虫歯予防	虐待対応研修・情報管理研修・拠点会議・カンファレンス会 議・給食会議
6月	北条小合同避難訓練・誕生会 個別希望面談・サッカー教室 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 歯磨き指導・虫歯予防 プライベートゾーンの話 歯科・内科検診	調乳指導、オムツ交換研修・熱中症予防研修・プライベートゾ ーン、パーソナルスペース研修・カンファレンス会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 誕生会・終業式 熱中症予防のお話	体育研修・気になる子研修・拠点会議・カンファレンス会議・ 委員長会議・給食会議
8月	おらがまち・避難訓練 誕生会	安全管理研修・災害研修・拠点会議・カンファレンス会議・ア レルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練 0歳児運動会・1歳児運動会 2歳児運動会・誕生会・幼児課運動会 手洗い月間・視力聴力検査についてのお話・ 熱中症について	アレルギー、エピペン研修・給食研修・拠点会議・カンファレン ス会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練・オータムキャンプ 誕生会・ハロウィンパーティー サッカー教室・秋の交流会(北条小) 目の大切さ 手洗い指導	接遇研修・各部署連携研修・拠点会議・カンファレンス会議・ 委員長会議・アレルギー会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 秋の交流会(北条小)・高校生との交流会 不審者対応訓練・怪我予防 予防接種について インフルエンザ予防接種(1回目)	嘔吐処理研修・立腰研修・カンファレンス会議・アレルギー会 議・給食会議
12月	0歳児発表会・1歳児発表会 2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 インフルエンザ予防接種(2回目)	乳幼児揺さぶられ症候群研修・カンファレンス会議・アレルギー 会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練 サッカー教室・誕生会	選択研修(保育に必要なスキルを身に付ける、自分たちで作 るより良い職場環境と保育の質の向上を目指して)・カンファレ ンス会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 個別希望面談 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観	KYT研修・拠点会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・ 給食会議
3月	ひなまつり会・カレー対決・避難訓練 遠足・誕生会・お別れ会・卒園式・修了式 ふわふわちくちく言葉	職員衛生研修(手洗い指導)・情報共有会議・拠点会議・カ ンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議

25. OURS baby

【定員】

・保育所 114 名 ・預かりサービス 8名(1日当たり)

【運営実績】

当年度は、国のこども子育て支援施策の趣旨を踏まえ、多様化する就労形態に合わせた保育サービスの提供と、子どもの安全・安心を最優先とした保育環境を整備し、関係諸法令を遵守した運営を行った。

特に保育所保育指針で求められている子どもの発達段階に応じた保育の実践では、養護と教育を一体的に提供し、子ども一人ひとりの特性を理解し主体性を尊重した保育サービスが提供できたと考える。

しかしながら、利用ニーズに合わせた保育士が確保できず、12月から3月までは預かりサービスを休止し、預かりサービスに配置していた保育士を保育所へ配置転換し運営することになってしまった。

感染症においても、流行性結膜炎や胃腸炎などが蔓延し、2026年1月中旬から発生した胃腸炎では、子ども26名、職員2名の感染となったが、保健所と連携して感染対策を実施したことにより、以降の感染症拡大は防ぐことができた。

◆サービス提供実績

事業種別等	利用率	延べ利用人数
保育所	70.7%	967名
預かりサービス	6.6%	129名

◆財務基盤の強化へ向けた取り組み

近隣地域の出生数が減少する中、保育サービスの提供以外にも朝食や夕食サービスなど、多様な働き方に合わせた柔軟な受け入れを提供、子育て世代から選ばれる保育所運営を実践し稼働率の維持向上に努めた。

ICT化やAIなどを活用したことにより、ペーパーレス化による消耗品費の削減、時間外労働などの削減に成功した。

◆人材育成と職場環境の整備

2025年度年間教育訓練計画をもとに、職員の資質向上に向けた内部研修を毎月開催し、とくに虐待防止や不適切保育の防止について重点を置いた。また、国が定める保育士キャリアアップ研修の受講においては、保育士全員が一つ以上の研修を受講し、専門スキルの向上や保育技術の向上を図った。

職場環境の整備においては、ICTやAIを活用し積極的な業務改善に努め、働きやすい職場づくりの構築に努めた。

◆地域社会への取り組み

保育の必要性がある対象の子ども数やこども園等の利用申込み状況などを鴨川市と情報を共有しながら、一時的に養育が困難になった子育て世帯に対しても預かりサービスを提供するなど、待機児童の発生を未然に防ぐ取り組みを実践した。

また、病児保育事業（体調不良児対応型）では、子どもが登園後に体調不良となった場合でも、就労後に保護者などが迎えに来るまでの間保育を提供することで、地域の労働力の確保に繋がった。

◆各種会議及び行事

月	行 事	研修・会議
4月	・誕生会 ・避難訓練	・2025 年度品質目標の理解・保育研修・BLS 研修 ・手洗い指導・嘔吐処理研修 ・リーダー会議・各委員会会議
5月	・誕生会 ・こどもの日会 ・親子遠足 ・不審者対応訓練 ・避難訓練	・子どもの人権虐待対応、不適切保育について ・リーダー会議・各委員会会議
6月	・誕生会 ・避難訓練	・水遊び、熱中症研修・BLS 研修 ・リーダー会議・各委員会会議
7月	・誕生会 ・七夕会 ・避難訓練 ・サマーフェスティバル	・体育研修・食物アレルギー、エピソード研修 ・企業主導型保育事業保育安全研修 ・保育士キャリアアップ研修 ・リーダー会議・各委員会会議
8月	・誕生会 ・避難訓練	・BLS 研修・防災、災害研修 ・保育士キャリアアップ研修 ・リーダー会議・各委員会会議
9月	・誕生会 ・避難訓練 ・運動会(0歳児・1歳児・2歳児)	・保育所保育指針の理解・KYT 研修 ・企業主導型保育事業施設長研修 ・認可外保育施設質の確保、向上のための研修 ・保育士キャリアアップ研修 ・リーダー会議・各委員会会議
10月	・誕生会 ・避難訓練 ・ハロウィンパーティー	・保育所保育指針の理解・BLS 研修 ・子育て支援員研修 ・リーダー会議・各委員会会議
11月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足	・虐待研修 ・保育士キャリアアップ研修 ・リーダー会議・各委員会会議
12月	・誕生会 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・発表会(0歳児・1歳児・2歳児)	・虐待研修 ・令和7年度乳幼児精神保健セミナー ・リーダー会議・各委員会会議
1月	・誕生会 ・避難訓練 ・新年会	・保育所保育指針の理解・法人研修・BLS 研修 ・リーダー会議・各委員会会議
2月	・誕生会 ・避難訓練 ・節分会	・誤食、事故防止について ・千葉県アレルギー研修 ・リーダー会議・各委員会会議
3月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足 ・ひな祭り会 ・お別れ会(2歳児)	・保育研修 ・令和7年度中堅者指導養成研修 ・リーダー会議・各委員会会議

※虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

26. 家事代行サービスルアナ

【運営実績】

パークウェルステイト鴨川での家事代行サービスも 5 年目となった。「一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える」という三井パークウェルステイトとしてのブランドコンセプトの一翼を担うべく、お客様の生涯の暮らしに家族のように寄り添い続け、様々なニーズに対しサービスを提供している。

2024 年度の契約内容は、清掃が大半を占めていたが、2025 年度は、買い物代行サービスや病院受診の付添といった、外出サービスの依頼が非常に増えており、毎月の収益の半分以上を占めている。

次年度は、外出サービスに対する需要にスポットをあて、さらなる顧客獲得に努める。また、サービス提供を継続することで、ご契約者が AL 介護フロアへの移り住みをされたときに、安心して生活ができるよう普段から関係性の構築に努める。

家事代行サービスを継続しながらレジデンスご入居者のサポートを可能な限り行い、ここ鴨川での生活が潤いあるものとなるよう太陽会スタッフとして尽力する。

◆ サービス提供実績

サービス利用実績

2025 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 1 時間プラン(件)	6	5	8	4	6	7	7	6	4	5	5	6
月 2 時間プラン(件)	2	1	3	4	4	3	3	3	5	3	3	3
月 3 時間プラン(件)	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
月 4 時間プラン(件)	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
外出プラン(件)	5	5	5	5	6	0	0	5	6	8	7	6
スポットプラン(件)	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1
身体介助【入浴】(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
無料お試しプラン(件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

ご利用者の年齢構成 (n=8)

70 代	80 代	90 代
2名	5名	1名

ご利用者の性別構成 (n=8)

男性	女性
5名	3名

ご利用者の世帯構成 (単身/夫婦) (n=8)

単身	夫婦
8世帯	0

- ・前年度に比べ、「月 2 時間プラン」のニーズが増加傾向となっている。
- ・ご利用者全員が単身世帯である。
- ・介護認定を取得し、訪問介護（介護保険サービス）による清掃に移行され、利用中止となるケースがある。
- ・IL 居室での身体介護（入浴介助）が発生している。
- ・受診付添の依頼が多く、ルアナで対応しきれず、他事所の自費サービスを利用されたケースがある。

【ご契約者のお声】

- ・日本人の方ばかりだし、若い人も多くて驚いています。
- ・家事全般はもうやりたくないから、全部お任せしたい。
- ・1人での外出は大変だから、付いてきてもらえて本当に助かっている。
- ・スタッフのみなさんがいつも元気で、こちらも力をもらっている。
- ・本当に助かっている。自分ではできない高いところや隅々まで掃除が行き渡っている。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・新規ご契約者獲得のために無料サービス(お試しプラン)の周知を図るため、レジデンス内リビングサロン等に働きかけサービスの紹介をしてもらい顧客獲得を図る。
- ・ご入居者からの評価や清掃スキルが高いスタッフを可能な限り担当とし、評価を高めることで顧客の拡大を図る。
- ・受診付添や買い物サービスのニーズが高まっており、他事業所に依頼するのではなく、ルアナにて対応ができるよう仕組みを構築し、ご入居者満足度及び収益向上に努める。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・ご契約者ごとの契約内容をマニュアル化し、新人などでもご契約者ごとの作業内容がわかるように整備した。随時更新及び情報共有していく。
- ・主となる介護フロア業務を圧迫しないよう、契約者数の推移を追いながら、スタッフの配置を増員した。
- ・ご契約者との良好な関係性を構築できたことで、受診付添や外出サービスにおいてスタッフを指名されるケースが増えている。

◆ 各種研修

- 4 月 新入職者研修①
- 6 月 新入職者研修②
- 7 月 高齢者虐待予防(動画のみ)
- 9 月 コンプライアンス・マナー
- 10 月 感染予防(対面・動画)
- 11 月 緊急時対応(BLS)
- 12 月 事故予防(動画)

27. 労働者派遣事業サンキャリ 有料職業紹介事業サンキャリ

【派遣登録者状況】2026年3月31日現在

安房医療福祉専門学校南房総校 介護福祉学科の学生を中心に以下の人員を登録。

- ・介護福祉学科(学生) 19名(2年生:8名・1年生:11名)
- ・日本語学科(学生) 2名
- ・介護職員 5名
- ・事務職員 2名

◆ 労働者派遣業サービス提供実績

(1) 営業 12 法人

(2) 取引実績 8法人

- ・医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
- ・医療法人明星会 東条病院
- ・医療法人社団優和会 館山ケアセンター夢くらぶ
- ・鴨川市立国保病院
- ・株式会社吉奈
- ・亀田産業株式会社
- ・一般財団法人千代田健康開発事業団 有料老人ホームラビドール御宿
- ・社会福祉法人千葉育美会 特別養護老人ホーム花の里

(3) 派遣単価

職種及び雇用形態に応じ、以下のとおり設定。

職種(雇用形態)	単 価(1時間あたり)
介護福祉士(常勤)	2,800 円～3,000 円
事務職員(常勤)	3,150 円・4,956 円
看護補助(アルバイト)	1,365 円～1,415 円
調理補助(アルバイト)	1,560 円(夜間時間帯 17:50～20:20 は 1,950 円)

(4) 派遣者稼働状況

年間を通じて、看護補助(アルバイト)を中心に稼働。

2025 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護職員(常勤)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
事務(常勤)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	10	15	17	19	17	18	18	18	18	17	17	17
調理補助(アルバイト)	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合 計	20	23	25	28	25	27	26	26	26	25	25	24

- ・月間平均派遣者数:25 名
- ・月間最大派遣者数:28 名(7月実績)

(5) 派遣時間数

2025 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護職員(常勤)	744	792	823	856	842	772	873	841	850	850	635	657
事務(常勤)	0	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	940	1,509	1,843	1,847	1,236	2,245	2,019	2,029	2,132	1,520	1,712	1,893
調理補助(アルバイト)	432	356	360	232	308	416	352	344	388	356	232	124
合 計	2,116	2,657	3,026	2,939	2,386	3,436	3,244	3,214	3,370	2,726	2,579	2,674

・月間平均総派遣時間:約 2,864 時間

◆ 有料職業紹介事業サービス提供実績

本年度の有料職業紹介事業に関する成約実績なし。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

安定的な稼働実績の維持と適正な利益管理により、事業の継続性を担保した。

- ・適正な派遣単価による収益管理:介護福祉士や事務職員など、職種・専門性に応じた単価設定を行い、収益の安定化を図っている。
- ・取引先基盤の確立:亀田総合病院や東条病院をはじめとする地域中核病院・施設等、計 8 法人との継続的な取引実績により、安定的なキャッシュフローを確保した。

◆ 人材育成と職場環境の整備

将来の労働力不足を見据え、留学生を主軸とした「集客・育成」のサイクルを強化した。

- ・戦略的な留学生の確保:南房総校において、海外や国内から安定して留学生を受け入れるための独自ルートや仕組みを確立した。
- ・現場での評価向上:派遣先より「明るく真面目で能力も高い」との評価を得ており、質の高い人材育成が具体的な実績として結実している。

安心して定着できるよう、生活面・コミュニケーション面から多角的な支援を行った。

- ・居住支援の拡充(学生寮・社宅):鴨川市(41戸)および館山市(17戸)に学生寮を整備し、2025年4月入職の外国人職員には千葉市や御宿町等で社宅を手配。引越し作業は業者を使わず、スタッフが同行して支援した。
- ・公式ラインの活用:困ったことへの24時間相談窓口を開設。
- ・移動手段の確保支援:通勤や日常生活の利便性を高めるため、希望者に対して車・原付免許の取得および車両購入の支援を行った。
- ・メンタルヘルスと親睦:食事会を開催し、不安の解消や職員間の親睦を図り、孤立させないサポート体制を構築した。

28. パークウェルステイト鴨川

【定員】

- パークウェルステイト鴨川 ・入居定員 882 人
・居室数 473 室(一般居室(IL)409 室 介護居室(AL)64 室)

【三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社 コンセプト】

「お一人おひとりの、自由に豊かな暮らしを支える三井のシニアのためのサービスレジデンス」。パークウェルステイトは、お元気なシニアの方が、より自分らしく暮らしていただけるように、三井不動産レジデンシャルウェルネスが、お客様の生涯のくらしに家族のように寄り添い続け、様々なサービス、サポートをさせて頂くすまいです。

【運営実績】

2021 年 11 月の開業から 4 年が経過し、「お一人おひとりの、自由に豊かな暮らし」をコンセプトに、個別性の高いケアを実践してきた。2025 年度の入居動向は、直接入居 2 名、IL からの移り住み 5 名に対し、ご逝去 3 名、転居 1 名であり、IL 特定契約は 2 名であった。2026 年 5 月から 3 階フロアが新たにオープンしており、今後も入居者数の増加が見込まれる。

また、ご入居者のニーズは年々高度化・多様化しており、太陽会を含めたレジデンス全体で満足度向上に向けた企画・実行を推進してきた。併せて、地域資源を最大限に活用し、レジデンス内においても潤いのある生活の実現に努めてきた。

2026 年度は、協力医療機関にレジデンススタッフをコンシェルジュとして配置し、受診支援体制の強化を図るとともに、在宅診療チームとの連携を一層強化する。これにより、多職種協働のもと、ご入居者が最期までその人らしく生活できる体制を整備する。

◆ サービス提供実績

(1) 契約者の推移

2025 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
介護居室(AL) 入居人数	17 人	19 人	20 人	20 人	21 人	21 人	20 人	22 人	22 人	21 人	22 人	20 人
一般居室(IL) 特定契約人数	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	3 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人

(2) 介護居室(AL) 契約者 男女比 (n=20)

男	女
4 人	16 人

(3) 介護居室(AL) 契約者 年齢別 (n=19)

70 歳代	80 歳代	90 歳代
4 人	7 人	9 人

- ・平均年齢:88 歳
- ・最高年齢:98 歳(2名在籍)

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・直接入居とIL 一般居室からの受け入れを進めてきた(年度:7名入居、ご逝去・転居4名)。
- ・1.5:1 以上(直接処遇職員)の手厚い人員配置のため、引き続き入居推進を行い職員の増員をかける(業務委託料)。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・開業から4年が経過し、業務の基盤となる業務ブック等の改善を図った。
- ・介護福祉士実務者研修講師や安房医療福祉専門学校南房総校講師、未来案内人(千葉県プロジェクト)など「教える・伝える」ことにスポットを当て職員教育を実施した。
- ・ICT 化を進め、業務改善や見守りシステムの導入など生産性向上に努めた。

◆ 地域社会への取り組み

- ・レジデンスとしては、イオンカー、ヤックスカー、JA、生花、パン販売等が定期販売している。館内イベントとして講談、フラダンス、太鼓等開催し多くのご入居者に楽しんでいただいた。
- ・在宅診療チームや訪問介護事業所、ケアマネジャーとの情報共有を密に行い、事業者連携の強化を図った。

◆ 各種会議及び行事

- ・オペレーション会議
- ・ネクストレベルプロジェクト会議
- ・PWS 委員会
- ・ウェルネス会議
- ・虐待防止会議
- ・身体拘束ゼロ会議
- ・教育委員会
- ・感染防止会議
- ・事故対策会議
- ・転倒対策会議

29. 亀田ホームクリニック幕張
亀田ホームケアサービス幕張

【定員】

パークウェルステイト幕張ベイパーク ・入居定員 738 人
・居室数 617 室(一般居室(IL)534 室 介護居室(AL)83 室)

【運営実績】

◆ パークウェルステイト幕張ベイパーク

実入居者数 (2026 年3月末時点)	介護居室(AL)	一般居室(IL)	※2024 年9月 1 日開業
	8名(8室)	373 名(287 室)	

■ウェルネス支配人

- ・定例報告、月次報告、自己報告書類の作成および行政報告。
- ・運営定例会、月次報告会、三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社の各会議体への参加。
- ・一般棟入居者懇談会への参画。 ※4半期毎に開催(7 月は懇談会総会)。
- ・訪問リハビリテーション業務の亀田ホームケアサービス幕張から亀田ホームクリニック幕張への移管。
- ・保険外サービス業務(従来の家事代行ルアナ)の再構築。

■一般居室対応(看護師、生活相談員)

緊急時対応(夜間対応・誤報を含む)	月平均	29 件
うち救急搬送および救急受診	月平均	約2件
健康相談(生活相談を含む)	月平均	46 件
個別相談	月平均	38 件
感染症対応	延べ	26 名(コロナ 19 名、インフルエンザ7名)
入居前面談	延べ	30 件

◆ 亀田ホームクリニック幕張

業務内容	標榜科	・内科／小児科	医師	・院長: 本山哲也 ・非常勤医師: 菅長麗依
		・一般診療		
		・健康診断		入居前健康診断、入居者基本健康診断 千葉市特定検診、千葉市がん検診(胃がんリスク、大腸がん、肝炎)
		・予防接種		千葉市小児定期予防接種、千葉市高齢者定期予防接種 各種予防接種事業(インフルエンザ、コロナ、肺炎球菌など)
		・訪問リハビリテーション		PWS 入居者対象※2025 年9月より開始

単位: 新患比率(%)、それ以外(人)

2025 年度 実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
保険診療(ご入居者)	195	196	234	231	234	262	313	274	244	273	255	295	3,006
〃(一般)	181	269	305	313	298	285	486	543	491	310	441	332	4,254
〃(新患比率)	21.9	23.5	25.6	19.8	23.6	17.0	21.0	30.9	22.8	16.3	21.0	19.0	21.8
ワクチン接種(コロナ)	-	-	-	-	-	-	103	47	4	0	0	-	154
〃(インフルエンザ)	-	-	-	-	-	-	316	213	35	4	1	-	569
ご入居者定期健診	3	2	2	1	1	0	3	6	0	7	18	23	66
訪問リハビリテーション	-	-	-	-	-	14	13	13	16	17	19	20	-

◆ 亀田ホームケアサービス幕張

・介護棟での見守り相談サービス

業務内容 ・介護保険サービス

・保険外サービス

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護

単位：(人)

契約者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6	8	62

※IL 居室からの移り住み3名、IL ご入居者の一時静養室看取り2名。

・居宅介護支援事業所

単位：(人)

契約者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護	10	11	11	12	13	17	17	16	19	19	20	20	185
要支援	8	8	11	11	12	8	8	11	12	15	15	17	136
計	18	19	22	23	25	25	25	27	31	34	35	37	321

・訪問介護

単位：(人)

契約者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護	6	6	5	5	5	6	6	7	8	9	9	10	82
総合事業	2	4	4	5	7	5	5	5	6	9	9	11	72
計	8	10	9	10	12	11	11	12	14	18	18	21	154

・訪問看護

単位：(人)

契約者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 (保険)	5	8	8	8	8	5	3	3	3	3	3	3	60
医療 (保険)	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
計	5	8	8	10	10	5	3	3	3	3	3	3	64

※8月までの訪問看護実績には、亀田ホームクリニック幕張移管前の訪問リハビリテーション実績を含む。